

# マニュアルの使いかた

本製品には次のマニュアルが用意されています。

## 安心してお使いいただくために

パソコンをお使いになるときに守っていただきたいことについて説明しています。

## まずはこれから！－基本編－



はじめにお読みください。

○「1章 初めてパソコンを使うとき」

- Windowsの基本操作
- 文字の入力のしかた
- 音楽を楽しむ
- DynaBookの機能を知る

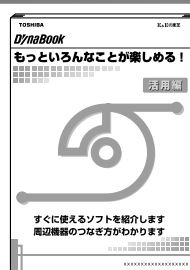
必要に応じてお読みください。

## 外の世界につながる！ －インターネット編－



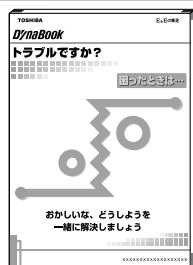
- インターネットに接続する
- メールを使う
- インターネットとメールのQ&A

## もっといろんなことができる！ －活用編－



- すぐに使えるソフトウェアの紹介
- 周辺機器を使うとき
- BIOSセットアップについて

## トラブルですか？－困ったときは－



- よくある質問とその解決方法
- パソコンの再セットアップ（購入時に戻す）

どうしてもわからない！故障かな？  
巻末「ユーザサポート窓口のご案内」を  
ご覧ください。

マニュアルは、本製品の使いかたについてできるだけわかりやすく説明しています。すでにパソコンを使ったことのあるかたも、必ずお読みください。

お読みになった後も、いつでも取り出してご覧になれるよう、保管しておいてください。

# もくじ

マニュアルの使いかた .....	1
もくじ .....	2
表記について .....	6

## 1章 インターネットを楽しもう！

1 インターネットとは？－始める前に－ .....	10
1. インターネットとは？ .....	10
2. インターネットでできること .....	11
3. インターネットに必要なもの .....	13
4. プロバイダを選ぶ .....	13
5. インターネットにかかる費用 .....	14
2 インターネットに接続する .....	15
1. 電話回線のタイプを設定する .....	16
2. パソコンと電話回線を接続する .....	17
3. プロバイダと契約する .....	18
4. プロバイダと契約終了後、必要な設定を行う .....	20
5. インターネットに接続する（2回目以降） .....	23
6. インターネット接続を終了する .....	25
3 Internet Explorer の使いかた .....	26
1. Internet Explorer 画面 .....	26
2. ホームページを検索する .....	27
3. よく見るページを登録する（お気に入り） .....	28
4 知っていると便利なこと .....	32
1. 起動したときに表示するページを変更する .....	32
2. ホームページを保存する .....	33
3. ホームページの画像を保存する .....	36
4. ホームページの画像を壁紙に設定する .....	37
5. プログラムファイルをダウンロードする .....	39
6. 以前に表示したホームページを表示する .....	41

## 2章 電子メールを使おう

- 1 電子メールとは? ..... 44
  - 1. 電子メールとは ..... 44
  - 2. メールのしくみ ..... 44
- 2 必要な設定を行う ..... 45
- 3 Outlook Express の使いかた ..... 52
  - 1. 起動する ..... 52
  - 2. Outlook Express 画面 ..... 53
  - 3. メールを作成する ..... 54
  - 4. メールを送信する／受信する ..... 57
  - 5. メールを返信する／転送する ..... 59
  - 6. メールを削除する ..... 61
  - 7. メールを整理する ..... 63
  - 8. アドレス帳を使う ..... 65
  - 9. 知っておくと便利なこと ..... 70
  - 10. Outlook Express を終了する ..... 76
- 4 新着メールをランプで確認する ..... 77

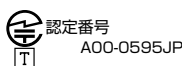
## 3章 Q&A集

- 1 インターネットに接続できないとき ..... 82
- 2 Internet Explorer を使うとき ..... 90
- 3 Outlook Express を使うとき ..... 92
- 4 接続後の様子がおかしいとき ..... 100
- さくいん ..... 104

## モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により  
電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定  
を受けたものです。



### ●使用できない地域

内蔵モデムは、日本国内に使用が限定されます。海外での許認可は受けていないため、海外ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

### ●自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

\*内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。

## Trademarks

- ・ Microsoft、Windows、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
- ・ VirusScan は米国法人 Network Associates, Inc またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ・ アメリカ・オンラインおよび AOL は AOL の登録商標です。



・ 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。

## お願い

- ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、東芝 PC 集中修理センターにご依頼ください。パスワードの解除を東芝 PC 集中修理センターにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアルまでご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

# 表記について

本製品のマニュアルは、次のきまりに従って書かれています。

## 記号の意味

### 警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。

### 注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

### お願い、 お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

### メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。

### 用語

・覚えておくと役に立つ用語を説明しています。

 この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

(注) 補足説明をしています。

## 画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。


### 【例】


Total = ×××× KB

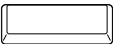
—このように画面または本文中の文字を×で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

## 入力するキー

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。

Ⓨキーを押す→  を押してください。

Ⓛキーを押す→  を押してください。

Ⓢ(Space)キーを押す→  (スペースキー) を押してください。

## 操作の表現

操作や作業は、次のように示します。

【例】

●操作が1つで済む場合は、次のように示します。

Ⓨキーを押す

●キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

ⓕ(Fn) + ⓕ(F2)キーを押す

この場合は、ⓕ(Fn)キーを押したままⓕ(F2)キーを押します。

## 用語について

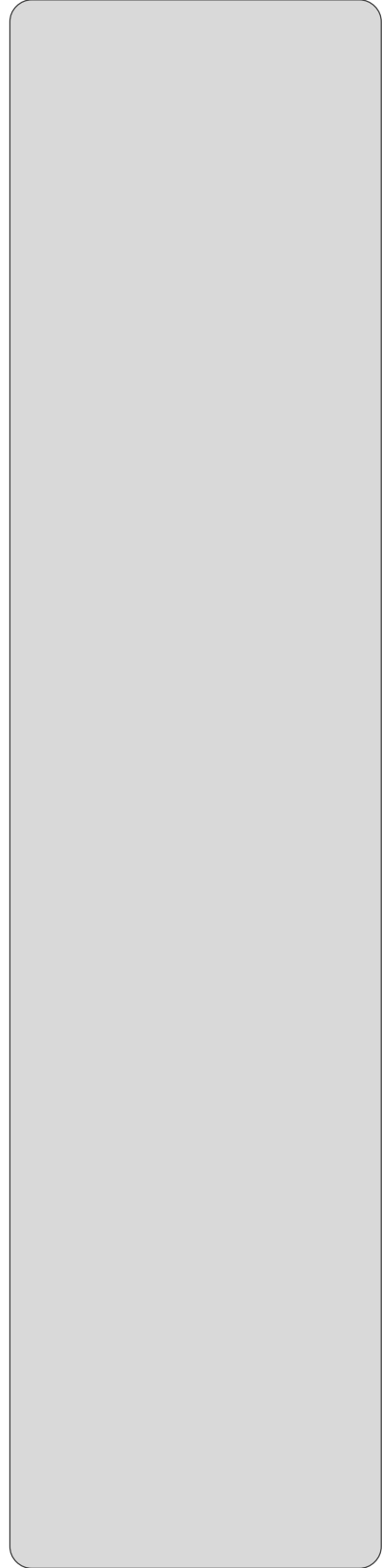
本書では、次のように定義します。

システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト  
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me ..... Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME ..... Microsoft® IME2000 を示します。





# 1 章

## インターネットを楽しもう！

インターネットについて説明しています。

- 1 インターネットとは？—始める前に— .... 10
- 2 インターネットに接続する ..... 15
- 3 インターネット エクスプローラ Internet Explorer の使いかた ..... 26
- 4 知っているると便利なこと ..... 32

# 1

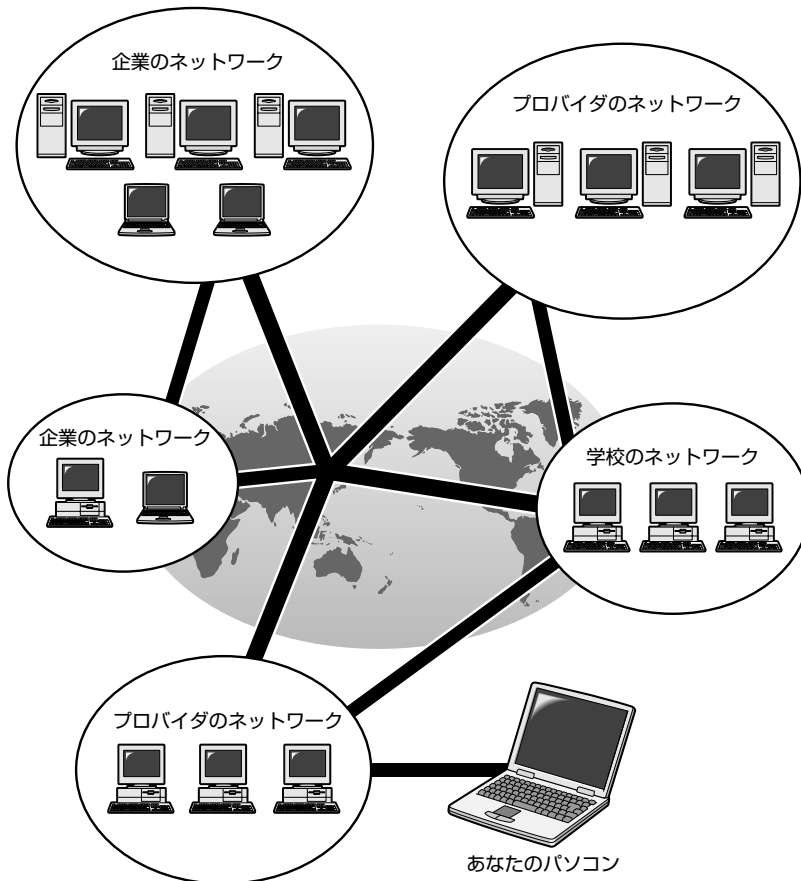
# インターネットとは? 一始める前に

## 1. インターネットとは?

インターネットとは、世界中のコンピュータを接続する巨大なコンピュータネットワークです。

企業、学校、プロバイダなどの小規模のコンピュータネットワーク同士が接続して、世界規模のコンピュータネットワークとなっています。

インターネットに接続すると、世界中のコンピュータに好きな時間にアクセスできるので、距離や時間を越えたコミュニケーションがインターネット上でできるようになります。



### 用語

#### ・プロバイダ

パソコンとインターネットの接続サービスを提供する会社。正式には「インターネットサービスプロバイダ」という。個人でインターネットを利用する場合、必ずどこかのプロバイダに入会する必要がある。


## 2. インターネットのできること

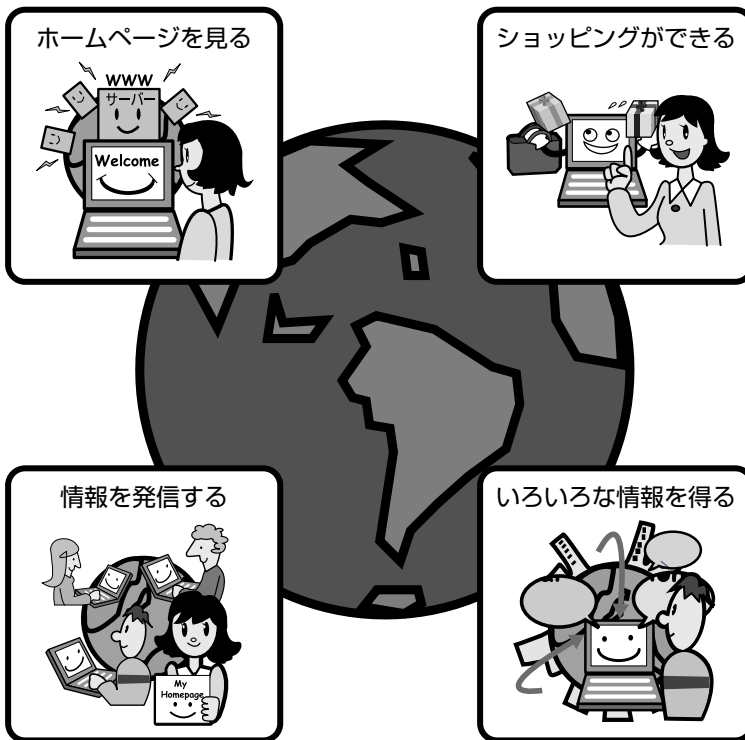
インターネットでは次のようなサービスを利用できます。

ブラウザブラウザ  
WWW

一般にホームページ、Web ページなどとよばれる文字や画像でできたページを見ることができます（以降本書ではホームページとよびます）。

ページ中の文字や画像をたどっていくと次々とページが表示され、目的の情報にたどりつくことができます。ホームページを見るにはブラウザとよばれるアプリケーションが必要です。

 詳細について ▶ 「本章 3 Internet Explorer の使いかた」



WWW サービスを利用して、インターネット上で行えることの実例です。

- ・ゲームをする
- ・カラオケをする
- ・ショッピングをする
- ・ラジオを聴く
- ・チャットする
- ・テレビを見る
- ・自分のホームページを開く
- ・ソフトを入手する（ダウンロードする）
- ・チケットなどの予約をする

# 1章

インターネットを楽しもう！




・ブラウザ  
ホームページを見るためのアプリケーション。WWWブラウザなどとも呼ばれる。

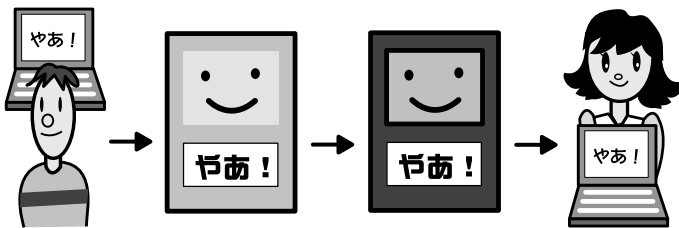
## 電子メール

インターネット上でやりとりする「手紙」です。

郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこにでも送れます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。

さらに画像や文書ファイルなどデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものとなっています。

 詳細について ▶ 「2章 電子メールを使おう」

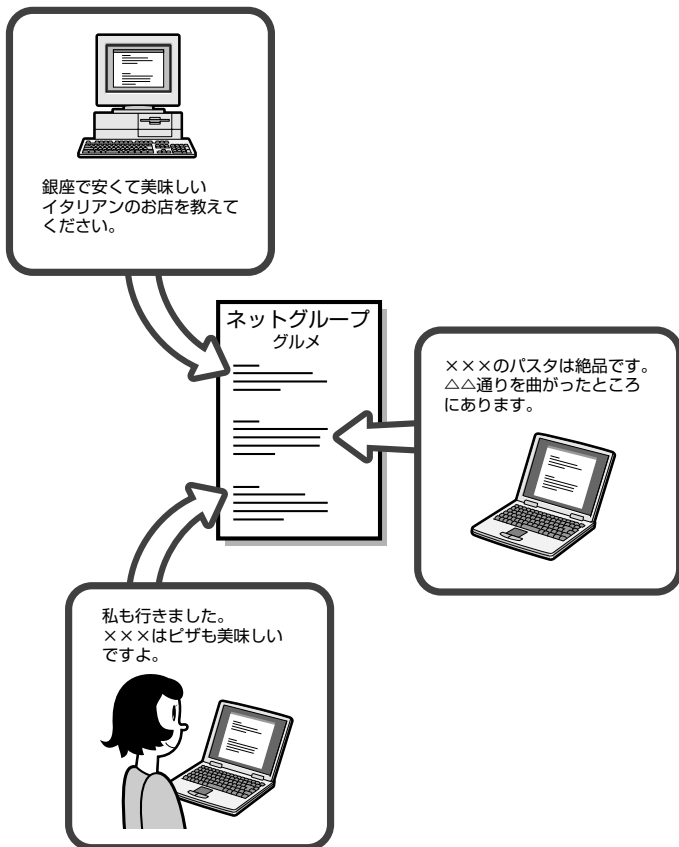


## ネットニュース

さまざまなテーマごとにわかれたグループ（「ネットグループ」といいます）があり、他人と意見や情報を交換する場です。

ネットニュースにメッセージを投稿したり、投稿されたメッセージを読むには、ニュースリーダとよばれるアプリケーションが必要です。

 詳細について ▶ 『Outlook Express のヘルプ』



### 3. インターネットに必要なもの

インターネットへ接続するためには次のものがが必要です。

- 電話回線または PHS、携帯電話など
- モデム  
本製品には内蔵されています。
- インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）  
本製品には「Microsoft Internet Explorer」が用意されています。
- インターネット接続ソフト（PPP 対応接続用ソフト）  
本製品には Windows に標準で付属しているダイヤルアップネットワークが用意されています。



- ・ PHS、携帯電話で接続するには別途接続機器が必要です。
- ・ より高速な通信を行いたいときは ISDN 回線をおすすめします。ISDN 回線をお使いになる場合は、市販のターミナルアダプタ (TA) が必要です。

### 4. プロバイダを選ぶ

個人でインターネットに接続するには、必ずプロバイダに入会する必要があります。インターネットに接続する前にどのプロバイダに入会するかあらかじめ検討しておきましょう。

プロバイダを選択するときは、次のようなことをポイントにして選択するとよいでしょう。

- 接続する場所と同じ市外局番のアクセスポイントがある／アクセスポイントが多い  
アクセスポイントの設置場所はプロバイダによって異なります。インターネットに接続するには電話料金がかかりますので、アクセスポイントが遠いと電話料金が高くなってしまいます。通常、接続する場所から最も近いアクセスポイントを選択します。また、外出先で使用することを考えると、アクセスポイントが多いほうがよいでしょう。
- 自分に適している料金プランがある  
各プロバイダが色々な料金プランを提供しています。インターネットを利用する時間を考え、適したプランを選択しましょう。  
 詳細について ▶「本節 5 インターネットにかかる費用」
- プロバイダが対応している通信速度を確認する  
自分のモデムやターミナルアダプタの通信速度を確認し、その速度に対応しているプロバイダを選択しましょう。  
プロバイダが対応していなければ、高速のモデムやターミナルアダプタを使用しても、その速度で通信できず、性能を発揮できません。  
また、携帯電話や PHS で接続する場合も、プロバイダが対応しているか確認しましょう。



- ・アクセスポイント  
各プロバイダが設置しているインターネットへの接続地点のこと。

●プロバイダが提供しているサービスを確認する

インターネット接続サービス以外にも色々なサービスが提供されています。インターネットの目的に合わせてサービスを確認しておきましょう。サービスの例です。

- ・コンテンツサービス ..... 生活や趣味、インターネット活用法などのさまざまな情報を、プロバイダのホームページで提供しています。
- ・メール/メール転送サービス ... プロバイダが用意しているメールサーバに接続することで、メールの送受信ができます。また、別のメールアドレスにメールを転送するよう設定しておくことができます。
- ・ホームページ開設サービス ..... インターネット上に自分のホームページを公開できるようになります。

●メールアドレスを指定できる

プロバイダによって、好きなメールアドレスを使える場合と、プロバイダから割り当てられたアドレスを使用する場合があります。あらかじめ確認しておくといでしょう。

●サポート体制が充実している

インターネットに接続するときにエラーメッセージが表示され、接続できなくなることがあります。自分で解決できないときは、各プロバイダのサポートセンタに問い合わせることになります。サポートセンタの営業時間なども考慮に入れるといでしょう。

## 5. インターネットにかかる費用

インターネットに接続すると、電話会社へ支払う電話料金と、プロバイダへ支払う利用料金がかかります。

インターネットをどれくらい使うかを考え、料金体系を選択しましょう。

プロバイダの料金体系の例です。

●従量料金制

プロバイダに接続した時間に応じて課金されます。インターネットを短時間利用する人におすすめします。

●固定料金制

プロバイダに何時間接続しても、支払う料金は定額です。インターネットを長時間利用する人におすすめします。メールチェック中心など、短時間の利用の場合は割高になります。

●基本料金+従量料金制

ある規定の接続時間までは固定、時間を越えた分だけ従量料金として課金されます。最も一般的な料金体系です。

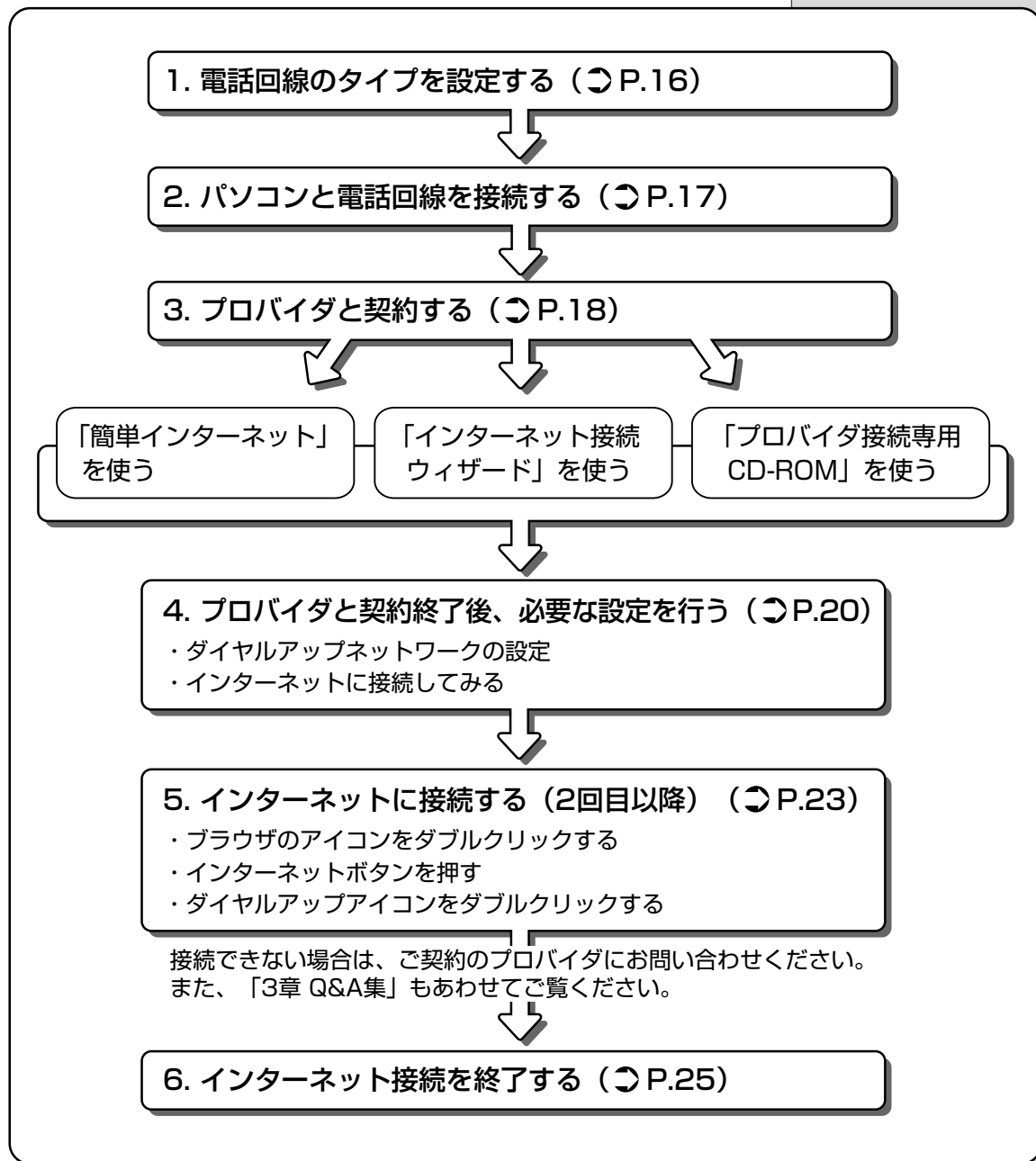


・プロバイダによっては、電話料金とプロバイダの利用料金をセットにして提供しているプランもあります。

# 2

## インターネットに接続する

次の流れで行います。



## 1. 電話回線のタイプを設定する

### 1 お使いの電話回線のタイプを確認する

プッシュ式電話をご使用の場合、ダイヤルボタンを押したときに出る音で電話回線のタイプを確認してください。

パルス .... ダイヤル式電話機、ダイヤルボタンを押すと「ブツブツ」と音がするプッシュ式電話機をご使用の場合

トーン .... ダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がするプッシュ式電話機、ISDN 回線をご使用の場合

### 2 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックし、 [テレフォニー] アイコン ( ) をダブルクリックする

### 3 [所在地情報] タブで、必要な設定を行う



外線電話をかけるときに必要であれば入力する  
ダイヤル先が  
市内のとき：[市内通話] に必要な番号を入力する  
市外のとき：[市外通話] に必要な番号を入力する

手順1で確認したタイプ (パルスかトーン) をチェックする

### 4 [OK] ボタンをクリックする



電話回線のタイプが不明な場合は電話会社にお問い合わせください。



[コントロールパネル] 画面に [テレフォニー] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。



外線発信番号について  
「0」などをダイヤルしてから外線につなぐ場合、その数字や記号を半角で入力します。

外線番号に続けて「, (カンマ)」を入力すると、カンマ1個につき約2秒間のダイヤル待ち時間を設定できます。うまくつながらない場合は、「0,」「0,,」のようにカンマをつけて、ダイヤル待ち時間を長くして試してみてください。



## 2. パソコンと電話回線を接続する

パソコンと一般電話回線を接続します。

### ⚠ 注意

- ・内蔵モデムは国内専用です。海外で内蔵モデムを使用すると故障のおそれがあります。海外ではご使用にならないでください。
- ・内蔵モデムは一般電話回線（アナログ回線）に接続して使用してください。デジタル回線（ISDN 回線など）には接続できません。デジタル回線対応の公衆電話のデジタル側やデジタル式交換機（PBX）へ接続すると、故障のおそれがあります。ホームテレホンやビジネスホン用の電話回線には絶対に接続しないでください。

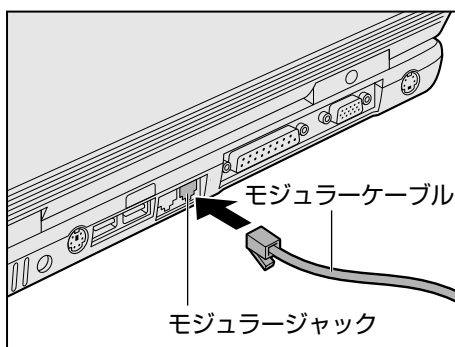
### ■ お願い

- ・市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- ・回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。
- ・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。

内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを2線式の電話回線に接続します。内蔵モデムは、ITU-T V.90 および K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダがV.90またはK56flex以外の場合は、最大33.6Kbpsで接続されます。

### 1 モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む

左隣にある LAN コネクタと間違えないように、よく確認して差し込んでください。「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。



### 2 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む

ISDN 回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ（TA）またはダイヤルアップルータのアナログポートに接続してください。



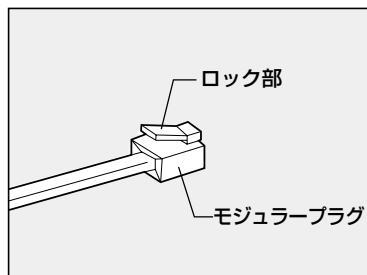
- ・PHS または携帯電話などをお使いの場合は、『PHS、携帯電話に付属の説明書』をご覧ください。



- ・V.90（バイキュージュウ）、K56flex（ケーゴロクフレックス）通信速度 56Kbps に対応したモデムの規格。どちらも 56Kbps に対応しているが互換性はない。V.90 は ITU（国際電気通信連合）が定めている標準規格。56Kbps は最高速度。実際は、回線状態などの影響でこの速度より遅くなる。

**取りはずすとき**


取りはずすときは、モジュージャックに差し込んであるモジュラープラグのロック部分を押さえながら抜きます。

**3. プロバイダと契約する**

プロバイダに入会するには、オンラインサインアップで入会する方法と、書類をプロバイダから取り寄せ、郵送やFAXなどで入会する方法があります。ここでは、オンラインサインアップで入会するときの方法をいくつか説明します。

**「簡単インターネット」を使う**

プロバイダの一覧から簡単に選択することができます。

- 1** デSKTOP上の「簡単インターネット」アイコン (  ) をダブルクリックする  
メッセージが表示されます。
- 2** パソコンと電話回線が接続されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする
- 3** 必要な内容を設定する

①入会したいプロバイダをチェック (  をクリック ) する



(表示例)

- ②ダイヤル方式を確認する  
「本節 1 電話回線のタイプを設定する」で設定したタイプにチェック (  ) がついているか確認してください。
- ③外線発信番号の内容を確認する  
「本節 1 電話回線のタイプを設定する」で設定した番号になっているか確認してください。

**4 設定が終了したら、[接続開始] ボタンをクリックする**

選択されたプロバイダ専用の接続画面が表示されます。表示される内容に従って、オンラインサインアップを行なってください。

**用語**

・オンラインサインアップ  
プロバイダへの入会契約をインターネット経由で行うこと。本来ならインターネットに接続するにはプロバイダとの契約が先に必要だが、この場合、仮のユーザー名などを使ってインターネットに接続される。

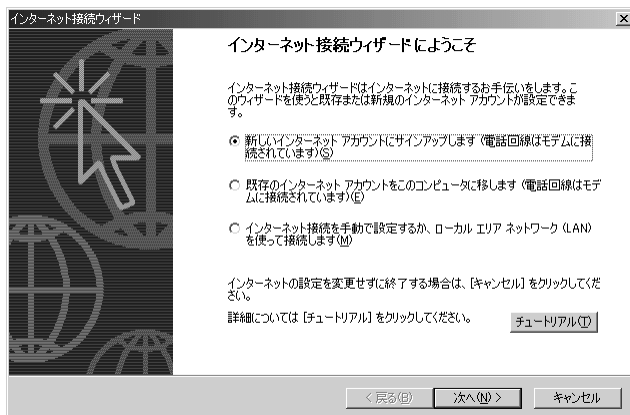
**メモ**

・オンラインサインアップで入会するには、ほとんどのプロバイダでクレジットカードの番号などが必要です。クレジットカードをお持ちでない場合は、各プロバイダにお問い合わせください。

## 「インターネット接続ウィザード」を使う

### 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [インターネット接続ウィザード] をクリックする

画面が表示されます。



### 2 表示される画面に従って設定を行う

## プロバイダ接続専用 CD-ROM などを使う

あらかじめ入会したいプロバイダの接続ソフトが収録してある CD-ROM などを入手しておきます。

### 1 パソコン本体に CD-ROM をセットする

### 2 表示される画面に従って設定を行う



- ・「インターネット接続ウィザード」は一般の電話回線（アナログ回線）からのみ接続できます。PHS、携帯電話、ISDN などは接続できません。

## 1 章


インターネットを楽しもう！

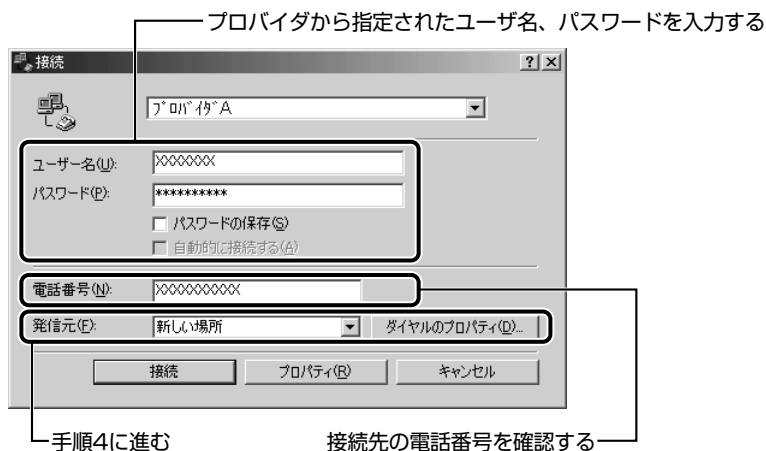
## 4. プロバイダと契約終了後、必要な設定を行う

プロバイダとの契約が終了した後、プロバイダによっては、パソコンへの設定が必要です。プロバイダによって設定内容は異なりますので、詳細が不明な場合は、プロバイダにお問い合わせください。

### 接続する前に

接続する前に、次の内容を入力または確認することをおすすめします。接続先や発信元に関する内容です。すでに設定されている項目もあります。

- 1 [スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする
- 2 [XXXX (接続先)] アイコン (  ) をダブルクリックする
- 3 [接続] 画面で必要な設定を行う



手順4に進む

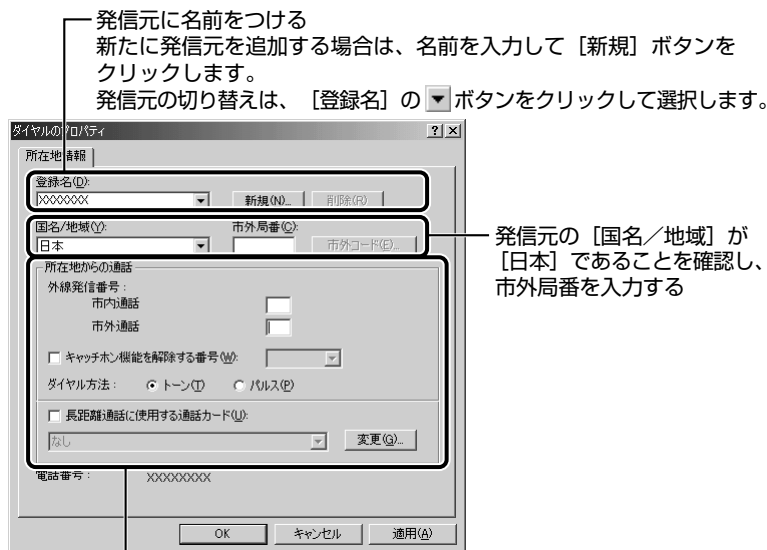
接続先の電話番号を確認する  
サインアップで選択したアクセスポイントの  
番号が表示されます。正しいか確認しましょう。



・ [パスワードの保存] をチェック (  ) すると、次回以降接続するときパスワードの入力が不要になります。ただし、パスワードを入力せずに誰でも接続できるので、安全性が低くなります。


#### 4 [ダイヤルのプロパティ] ボタンをクリックする

発信元の情報を設定します。



発信元に名前をつける  
新たに発信元を追加する場合は、名前を入力して [新規] ボタンをクリックします。  
発信元の切り替えは、[登録名] の ▾ ボタンをクリックして選択します。

発信元の [国名/地域] が [日本] であることを確認し、市外局番を入力する

外線発信番号、ダイヤル方法があるか確認する  
 ダイヤル方法、外線発信番号について  
 ⇨「本節 1 電話回線のタイプを設定する」

#### 5 [ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

以上で設定は完了です。

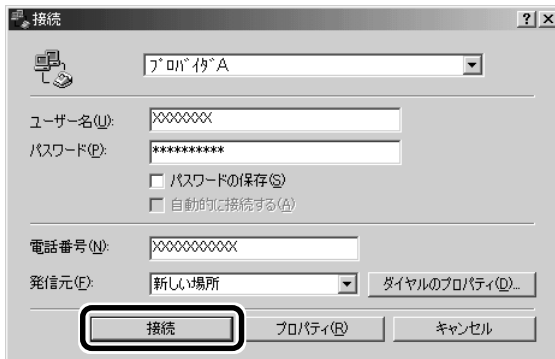
すぐにインターネットに接続する場合は、続けて「インターネットに接続してみる」をご覧ください。

### インターネットに接続してみる

設定が完了したら、実際にインターネットに接続してみます。

[接続] 画面が表示されていない場合は、[スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックし、[XXXX (接続先)] アイコンをダブルクリックしてください。


#### 1 [接続] 画面で、[接続] ボタンをクリックする

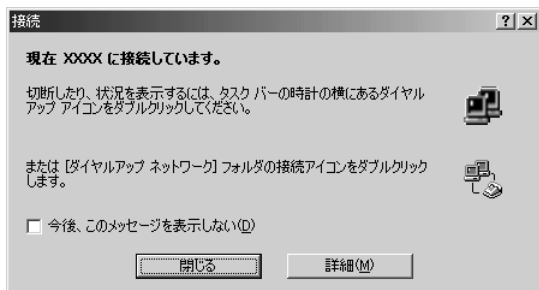


インターネットへの接続が開始されます。

接続中は次のような画面が表示されます。しばらく時間がかかる場合もあります。




接続が成功すると、次の画面が表示され、タスクバーに [接続中] アイコン (  ) が表示されます。




## 2 内容を読んで [閉じる] ボタンをクリックする

これでインターネットへの接続は完了です。

### ■ ホームページを見たいとき

デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン (  ) をダブルクリックすると「Internet Explorer」の画面が表示されます。アドレスを入力したり、検索機能を使って好きなページを見てみましょう。


 「Internet Explorer」の使いかたについて  
 ▶ 「本章 3 Internet Explorer の使いかた」

### ■ メールをしたいとき

メールをするには、初めに設定が必要です。


 電子メールの設定について ▶ 「2章 電子メールを使おう」



・ [接続中] アイコン (  ) が表示されている間は、電話料金がかかります。

## 5. インターネットに接続する (2回目以降)

プロバイダとの契約やパソコンの設定が完了している場合の接続方法です。あらかじめパソコンと電話回線が接続されているか確認ください。

 接続方法 ▶ 「本章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

インターネットに接続する場合は、必ず [接続] 画面が表示され、必要な情報を入力または確認します。

ここでは [接続] 画面を表示する代表的な方法を説明します。

### 方法1 - ブラウザのアイコンから接続する

#### 1 デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン ( ) をダブルクリックする

[接続] 画面が表示されます。

#### 2 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする

### 方法2 - インターネットボタンから接続する

ワンタッチでブラウザを起動できます。

既定値では「Internet Explorer」が起動するように設定されています。その他のソフトウェアに変更したい場合は、『基本編 7章 11 イージーボタン』をご覧ください。

#### 1 機能切り替えスイッチを左にする①

#### 2 ディスプレイを開く

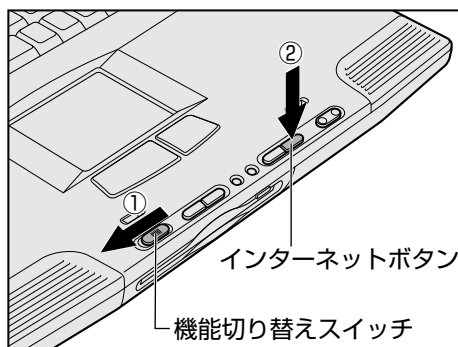
ディスプレイを閉じた状態では、ボタンは使えません。

#### 3 インターネットボタン ( ) を押す②

パソコン本体の電源が OFF または休止状態のときも使用できます。インターネットボタンを2秒以上押し続けた後、指をボタンから離してください。電源が入ります。電源を切っていた場合は [Windows へようこそ] 画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力してください。

続けてブラウザが起動し、[接続] 画面が表示されます。


#### 4 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする




・インターネットボタンを使うには、イージーボタンのユーティリティのセットアップが必要です。

- ▶ 『基本編 1章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには』

### 方法3 -ダイヤルアップアイコン ( ) から接続する

- 1** [スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする
- 2** [XXXX (接続先)] アイコン (  ) をダブルクリックする  
[接続] 画面が表示されます。
- 3** 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする




・接続先を追加した場合は、  
[ダイヤルアップ] アイコン  
(  ) は接続先の番号ごと  
に作成されます。接続する  
場所に応じて、番号を使い  
分ける場合にはわかりやす  
い名前をつけると切り替え  
が簡単です。




## 6. インターネット接続を終了する

代表的な切断方法を説明します。


接続が切断されると、タスクバーの [接続中] アイコン (  ) が消えます。

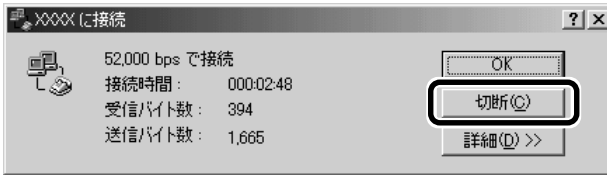
### 方法1

- 1 タスクバーの [接続中] アイコン (  ) を右クリックし、表示されたメニューから [切断] をクリックする




### 方法2

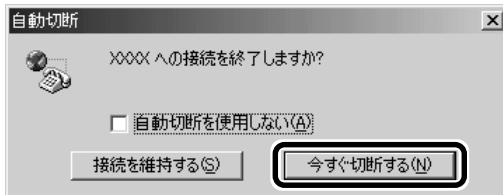
- 1 タスクバーの [接続中] アイコン (  ) をダブルクリックする
- 2 [切断] ボタンをクリックする



### 方法3

「Internet Explorer」が表示されている場合です。

- 1 「Internet Explorer」の [閉じる] ボタン (  ) をクリックする
- 2 [今すぐ切断する] ボタンをクリックする



## 1 章

インターネットを楽しもう！



・回線状態などの影響で、実際の接続状態は、表示されたスピードより遅い場合があります。

# 3

# インターネット エクスプローラ Internet Explorer の使いかた

ホームページを楽しむために、Internet Explorer の使いかたを覚えましょう。  
ここでは基本的な使いかたを説明します。

\*本節で使用している画面は表示例です。ホームページのアドレス、画面などは、変更になる場合があります。

## 1. Internet Explorer画面

メニューバー  
すべての操作はこのメニューから行えます。

アドレスバー  
ホームページのアドレスがわかっている場合に入力します。  
アドレスとは「http://」の後に続く英数字のことで、ホームページの場所を示します。

ステータスバー  
接続状態を表示します。

ツールバー  
よく使う機能がボタンでまとめられています。各ボタンは次の動きをします。

戻る 1つ前の画面に戻ります。

進む 1つ先の画面に進みます。

× ページの読みこみを中止します。

刷新 ページを最新の情報にします。

スタート ページを表示していても、スタートページが表示されます。  
☞「本章 4-1 起動したときに表示するページを変更する」

検索 検索の画面を表示します。  
☞「本節 2 ホームページを検索する」

お気に入り よく見るページなどを登録し、簡単にページが開けるようにします。  
☞「本節 3 よく見るページを登録する（お気に入り）」

履歴 以前に表示したページを表示します。  
☞「本章 4-6 以前に表示したホームページを表示する」

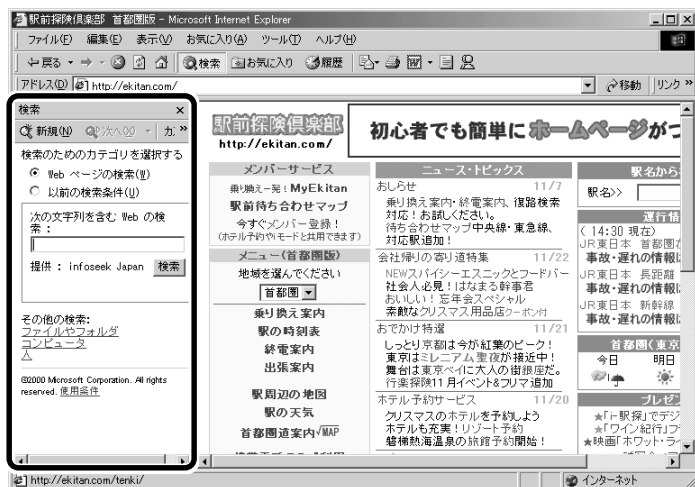
メールソフトを起動します。

印刷 ページを印刷します。

## 2. ホームページを検索する

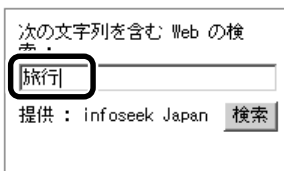
### 1 ツールバーの [検索] ボタン ( 検索 ) をクリックする

左側に検索画面が表示されます。



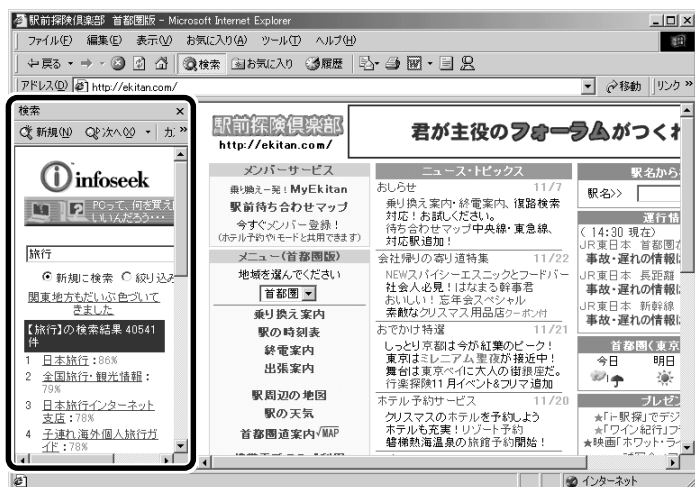
### 2 探したいページのキーワードを入力する

ここでは「旅行」と入力してみます。



### 3 [検索] ボタンをクリックする

検索結果が表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると、ページが表示されます。



### 3. よく見るページを登録する（お気に入り）

よく見るホームページを「お気に入り」に登録しておきます。「お気に入り」に登録しておくと、アドレスなど面倒な入力をせずに、見たいホームページを表示できます。

#### 【お気に入り】に登録する

##### 1 登録したいホームページを表示する

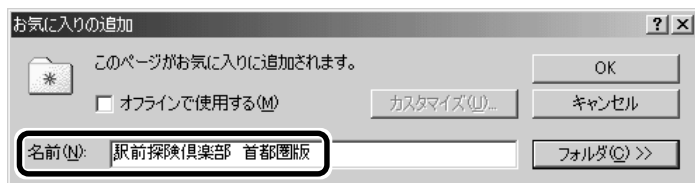
ここでは「http://ekitan.com/」のページを例にして説明します。

##### 2 メニューバーの【お気に入り】をクリックし①、表示されたメニューから【お気に入りに追加】をクリックする②



##### 3 【名前】を入力する

ここでは、「駅前探検倶楽部 首都圏版」で登録します。



##### 4 登録するフォルダを指定しない場合は【OK】ボタン、指定する場合は【フォルダ】ボタンをクリックする

フォルダを指定しない場合は登録完了です。

フォルダを指定する場合は手順5以降をご覧ください。

##### 5 【フォルダ】を指定する

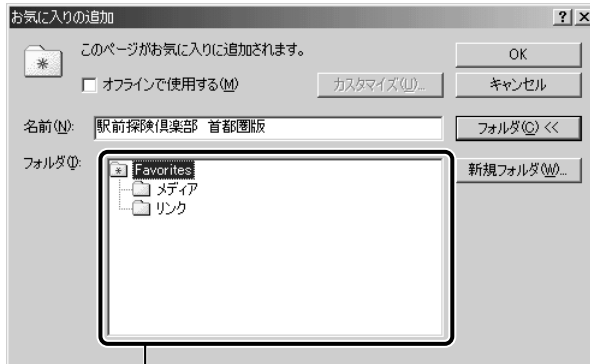


用語

・アドレス

「http://」の後に続く英数字のことで、ホームページの場所を示す。住所のようなもの。URLとも呼ばれる。

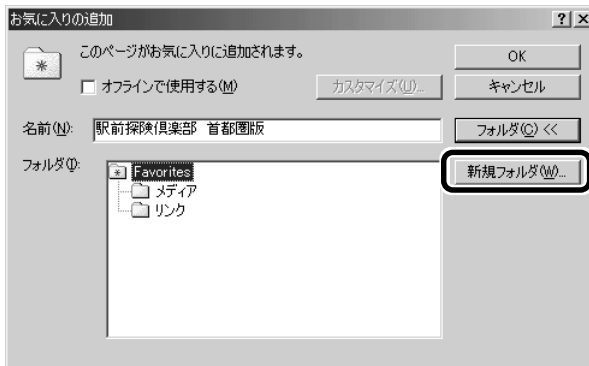
## ■ 既存のフォルダに登録する場合



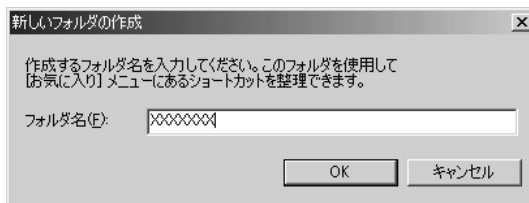
目的のフォルダをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

## ■ 新規にフォルダを作成する場合

### ① [新規フォルダ] ボタンをクリックする

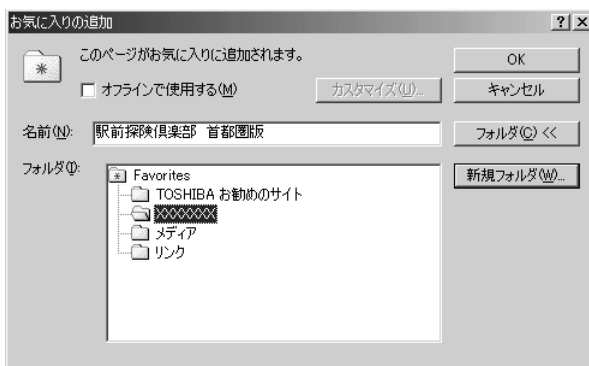


### ② 名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする



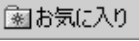
フォルダが作成されました。

### ③ 作成したフォルダが反転表示している状態で [OK] ボタンをクリックする

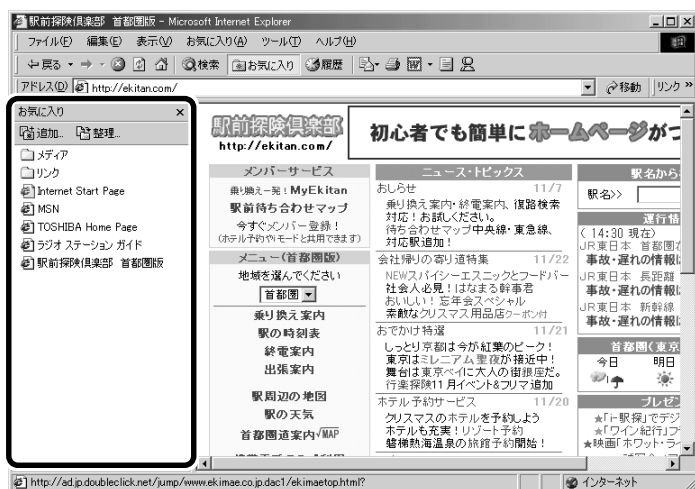


## 【お気に入り】からホームページを表示する

### 方法1

- 1 ツールバーの【お気に入り】ボタン (  ) をクリックする

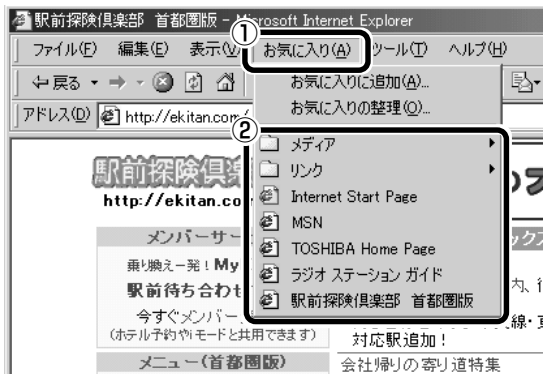
左側に【お気に入り】画面が表示されます。



### 2 目的のフォルダまたはホームページをクリックする

### 方法2

- 1 メニューバーの【お気に入り】をクリックし①、表示されたメニューからフォルダまたはページをクリックする②

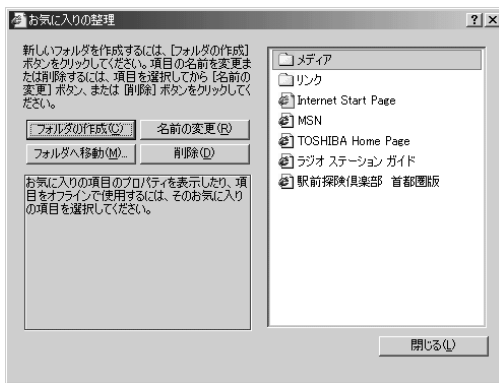


## 【お気に入り】を整理する

- 1 メニューバーの【お気に入り】をクリックし①、表示されたメニューから【お気に入りの整理】をクリックする②



【お気に入りの整理】画面が表示されます。



### 新しくフォルダを作成する

- 1 【フォルダの作成】ボタンをクリックする

【新しいフォルダ】が作成されます。

- 2 名前を入力する

### 登録してあるフォルダを変更する

- 1 変更したいフォルダまたはホームページをクリックし、【フォルダへ移動】ボタンをクリックする

フォルダの一覧が表示されます。

- 2 移動先のフォルダをクリックし、【OK】ボタンをクリックする

### 【お気に入り】から削除する

- 1 削除したいフォルダまたはホームページをクリックし、【削除】ボタンをクリックする

確認のメッセージが表示されます。

- 2 【はい】ボタンをクリックする

# 4

## 知っていると便利なこと

Internet Explorerの使いかたで、知っておくと便利なことを紹介します。

\*本節で使用している画面は表示例です。ホームページのアドレス、画面などは、変更になる場合があります。

### 1. 起動したときに表示するページを変更する

Internet Explorerを起動したときに表示されるホームページをスタートページといいます。スタートページは、自由に設定することができます。

#### 1 スタートページにしたいホームページを表示する

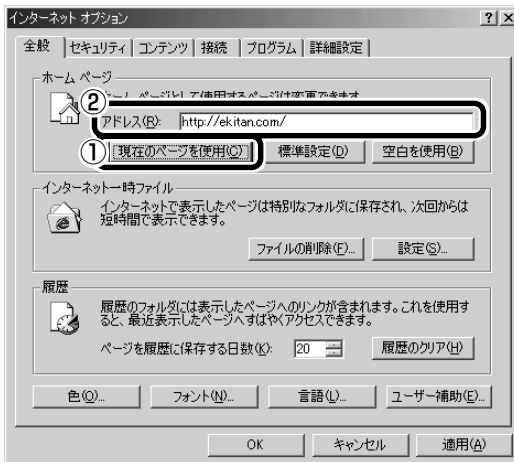
ここでは「http://ekitan.com/」を例にして説明します。

#### 2 メニューバーの【ツール】をクリックし①、表示されたメニューから【インターネットオプション】をクリックする②



#### 3 【全般】タブの【ホームページ】で【現在のページを使用】ボタンをクリックする①

【アドレス】に、表示しているホームページのアドレスが表示されます②。  
【標準設定】ボタンをクリックすると、ご購入時の設定に戻ります。



#### 4 【OK】ボタンをクリックする




・【アドレス】にスタートページにしたいホームページのアドレスを直接入力して設定することもできます。この場合、あらかじめホームページを表示しておく必要はありません。



## スタートページに戻る

他のホームページを表示していても、[ホーム] ボタンをクリックするだけでスタートページへ移動することができます。

- 1 ツールバーの [ホーム] ボタン (  ) をクリックする  
スタートページが表示されます。

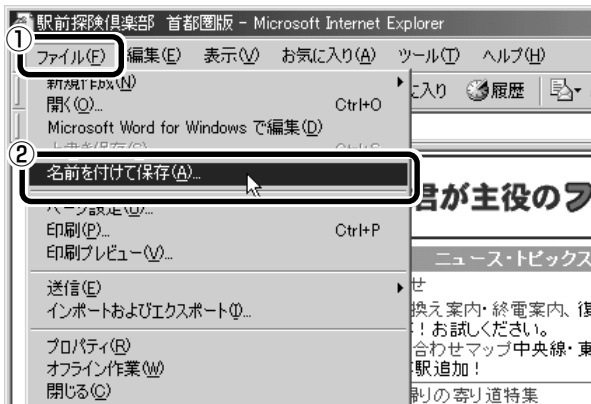
## 2. ホームページを保存する

後でゆっくり見たいホームページや保存しておきたいホームページを文章やイラストごとダウンロードし、1つのファイルとして保存できます。

### 1 保存したいホームページを表示する

ここでは「<http://ekitan.com/>」を例にして説明します。

- 2 メニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [名前を付けて保存] をクリックする②



### 用語

- ・ダウンロード  
インターネット上などにある別のコンピュータから、プログラムやファイルなどのデータを自分のパソコンに転送すること。

## 1章

インターネットを楽しもう！

### 3 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。



[ファイルの種類] で保存する内容を選択できます。

[Web ページ、完全 (\*.htm ; \*.html)] :

表示されているホームページの内容がすべて表示されます。保存されるときは画像ファイルなどは別のファイルで保存されます。

[Web アーカイブ、単一のファイル (mht)] :

表示されているホームページの内容が1つのファイルですべて保存されます。

[Web ページ、HTML のみ (\*.htm、\*.html)] :

表示されているホームページが htm ファイルの形式で保存されますが画像などは保存されません。

[テキストファイル (\*.txt)] :

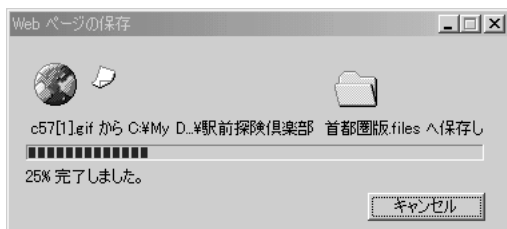
文字だけが保存されます。画面上では文字であってもその文字が画像として作成されていた場合は保存されません。表示するときは「メモ帳」などで開きます。

ここでは、[Web ページ、完全 (\*.htm、\*.html)] を選択した場合で説明します。

[エンコード] では [日本語 (シフト JIS)] を選択してください。

### 4 [保存] ボタンをクリックする

ダウンロードが開始されます。



ホームページのファイルと同じファイルが [マイドキュメント] に保存されます。

保存したページを見るには、ホームページのファイルをダブルクリックします。



ホームページのファイルと同じ名前のフォルダには、そのページに使われているイラストなどが保存されています。

ホームページのファイルあるいはフォルダのどちらかを移動あるいは削除すると、もう一方も一緒に移動あるいは削除されますので、同じ場所に保存してください。

# 1章

インターネットを楽しもう！

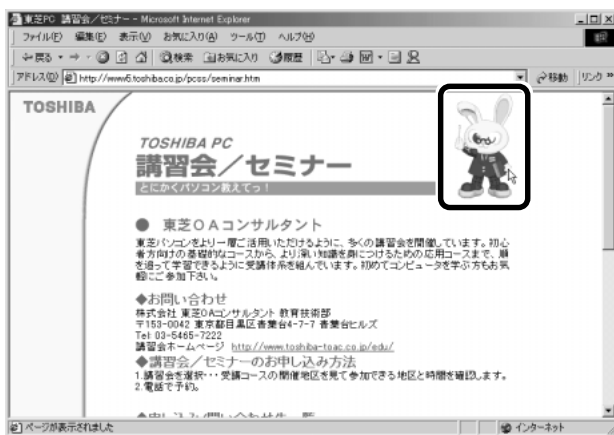
### 3. ホームページの画像を保存する

表示しているホームページ上の画像をパソコンに保存することができます。

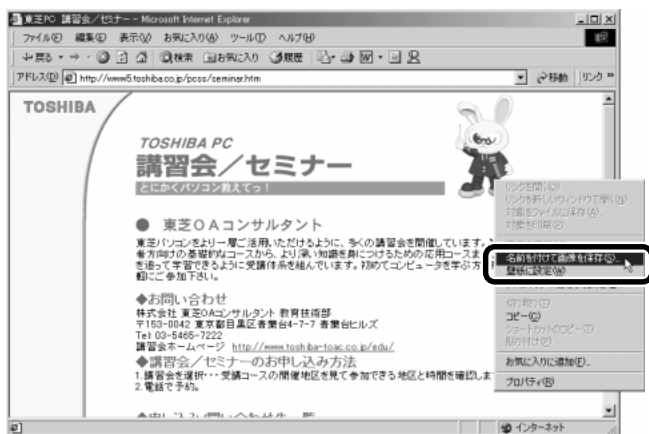
ここでは「http://www5.toshiba.co.jp/pcss/seminar.htm」のページの画像を例にして説明します。



#### 1 保存したい画像の上にマウスポインタをあわせる



#### 2 右クリックし、表示されたメニューから [名前を付けて画像を保存] をクリックする



「画像の保存」画面が表示されます。

### 3 保存する場所とファイル名を確認する

保存する場所を変更したい場合は、[保存する場所]の右端の▼ボタンをクリックします。場所の一覧が表示されますので、保存先を選択してください。

[ファイル名]には、ホームページ上の画像のファイル名が表示されます。ファイル名は自由に変更できます。

 文字の入力 ▶『基本編 4章 3 文字を入力する』



### 4 [保存] ボタンをクリックする

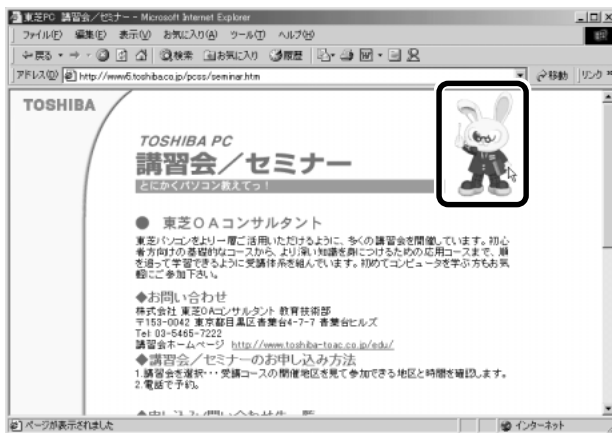
## 4. ホームページの画像を壁紙に設定する

ホームページ上の画像をデスクトップの壁紙にすることができます。

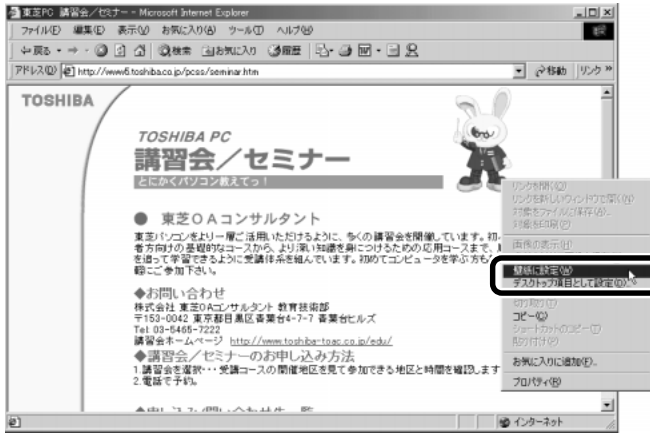
ここでは「<http://www5.toshiba.co.jp/pcss/seminar.htm>」のページの画像を例にして説明します。




### 1 壁紙に設定したい画像の上にマウスポインタをあわせる

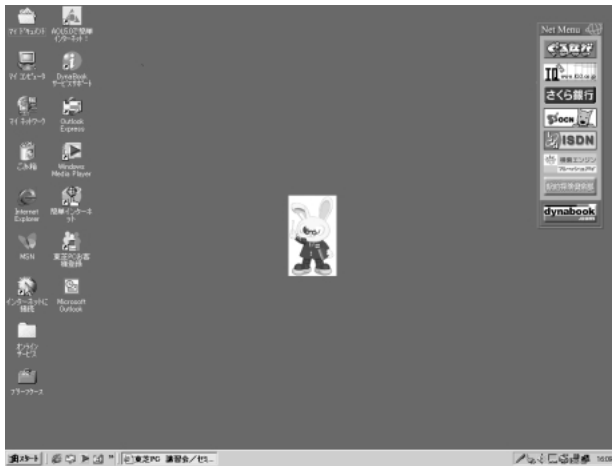


## 2 右クリックし、表示されたメニューから「壁紙に設定」をクリッくする



画像が壁紙に設定されます。

Internet Explorerの画面の「最小化」ボタン（）をクリッくし、デスクトップ画面の壁紙を確認してください。



### 壁紙を拡大する／並べて表示する

壁紙が小さい場合拡大したり、画面いっぱいになべて表示することができます。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリッくする
- 2 [画面] をダブルクリッくする
- 3 [画像の位置] で、拡大したい場合は [拡大して表示]、並べたい場合は [並べて表示] を選択する

## 5. プログラムファイルをダウンロードする

ホームページには、プログラムなどのファイルを提供しているものがあります。ファイルのダウンロードを選択すると、次のような画面が表示されます。



(表示例)

ホームページの場所からプログラムなどのファイルを実行する方法は、実行に時間がかかったり、実行中に何らかの理由でインターネットへの接続が切断されるなど、失敗する場合があります。また、ファイルによっては、ウイルスが含まれているなど、パソコンに悪影響を与えるおそれのあるものがあります。

そのため、[このプログラムをディスクに保存する]方法をおすすめします。ディスクに保存するとは、ホームページからファイルをダウンロードして自分のパソコンに保存することです。

この方法には次のような利点があります。

- ・ ファイルにウイルスはないか、チェックできる
- ・ 他のアプリケーションを終了してから、ファイルを実行することができる
- ・ インターネットへの接続を切断してから、ファイルを実行することができる

ファイルをダウンロードしてディスクに保存する方法を説明します。

### 1 [このプログラムをディスクに保存する] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする



#### 用語

- ・ **ダウンロード**  
インターネット上などにある別のコンピュータから、プログラムやファイルなどのデータを自分のパソコンに転送すること。

#### メモ

- ・ ファイルの種類によっては、1つめの項目が[このプログラムを上記の場所から開く]と表示されます。

#### 用語

- ・ **ウイルス**  
コンピュータウイルスともいい、ソフトウェアやハードウェアを破壊し、コンピュータにトラブルを発生させる悪質なプログラムのこと。

## 1章

インターネットを楽しむもう一！

## 2 保存先、ファイル名を選択する

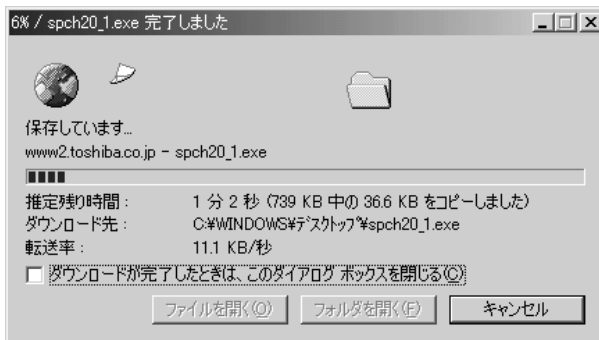
保存する場所、ファイル名を指定してください。



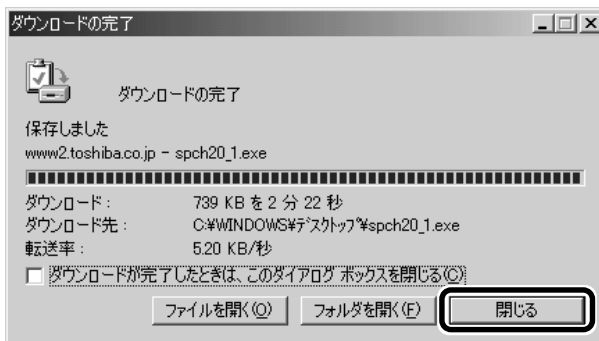
## 3 【保存】 ボタンをクリックする

ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが終了すると、終了画面が表示されます。



## 4 【閉じる】 ボタンをクリックする



ダウンロードしたファイルを実行するには、保存したファイルをダブルクリックします。



・ファイルサイズが大きいと、ダウンロードには時間がかかります。




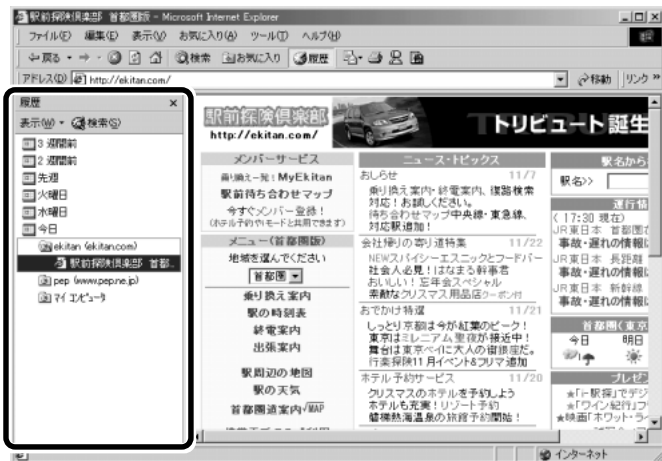
・[ダウンロードが完了したときは、このダイアログボックスを閉じる] をチェックすると、閉じるための操作をしなくてもダウンロード終了後、画面が閉じます。



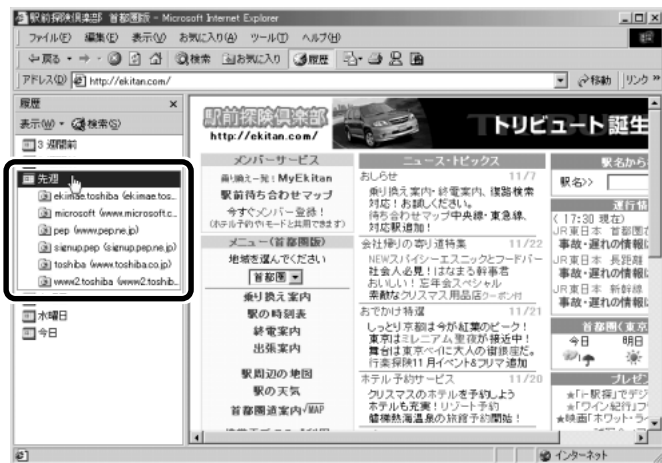
## 6. 以前に表示したホームページを表示する

過去に表示したことがあるホームページの履歴は、一定期間保存されています。履歴を検索して、以前に表示したホームページをもう一度表示させることができます。

- 1 ツールバーの【履歴】ボタン (  ) をクリックする  
左側に履歴画面が表示されます。



- 2 目的のホームページを表示した週または曜日をクリックする  
その週または曜日に表示したホームページの場所の一覧が表示されます。

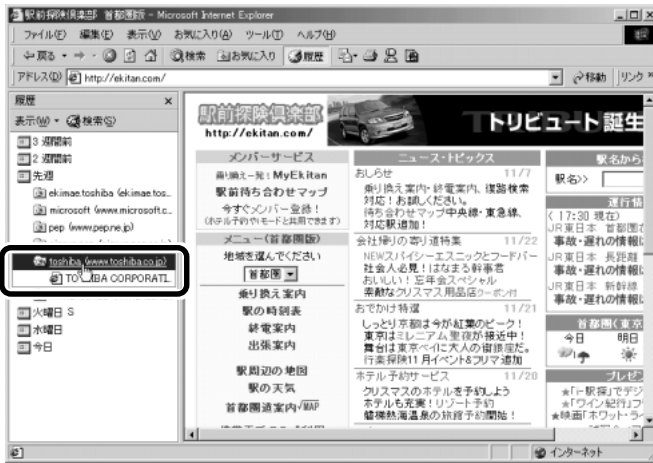


1章

インターネットを楽しもう！

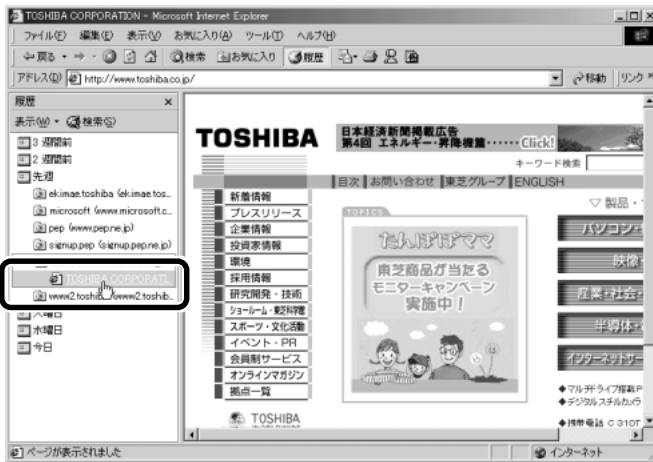
### 3 目的のホームページがある場所をクリックする

その場所で表示したホームページの一覧が表示されます。



### 4 目的のホームページをクリックする

ホームページが表示されます。



ツールバーの「履歴」ボタンをもう1度クリックすると、左側の履歴画面が閉じます。



履歴の保存期間は、メニューバーの「ツール」-「インターネットオプション」-「全般」タブの「履歴」で設定することができます。

# 2章

## 電子メールを使おう

電子メールの設定や使いかたについて説明しています。

- 1 電子メールとは? ..... 44
- 2 必要な設定を行う ..... 45
- 3 アウトロック Outlook エクスプレス Express の使いかた ..... 52
- 4 新着メールをランプで確認する ..... 77

# 1 電子メールとは？

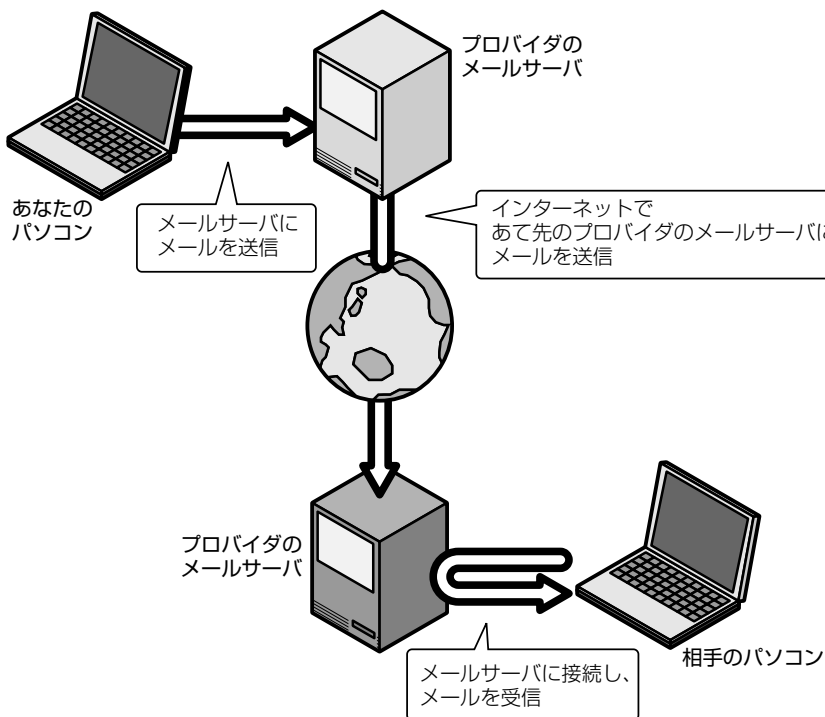
## 1. 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間で届きます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに、画像や文書ファイルなどのデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

「Eメール (Electric Mailの略)」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ぶこともあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

## 2. メールのしくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータは、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。データを受け取ったプロバイダは、受信者別にメールを整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、パソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



### 用語

- ・メールサーバ  
メールの配信サービスを提供するコンピュータ。メールの配信では、送信のために利用されるSMTPサーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つPOP3サーバの2種類がある。

# 2

## 必要な設定を行う

本製品にはメールソフト「Outlook Express」がプレインストールされています。ここでは「Outlook Express」の使いかたについて説明します。その他のメールソフトを使う場合は、『メールソフトに付属の説明書』をご覧ください。

ここでは、すでにプロバイダへの入会が完了している場合について説明します。

 プロバイダへ入会していない場合 ▶ 「1章 インターネットを楽しもう！」

メールの使いかたについて、次の流れで説明します。

### 必要な設定をする (☞P.46)

初めてメールを使うときのみ必要です。

### Outlook Expressの使いかた

#### ●基本 (☞P.54)

- ・メールを作成する
- ・メールを送信する／受信する
- ・メールを返信する／転送する
- ・メールを削除する

#### ●活用 (☞P.63)

- ・メールを整理する
- ・アドレス帳を使う
- ・その他の機能

### 新着メールを自動チェックする (☞P.77)

\*本章で使用している画面は表示例です。



- ・プレインストール  
パソコンにあらかじめ入っており、すぐ使えること。  
インストールの作業が不要。

## 2章

電子メールを使おう

初めてメールを使うときは、プロバイダのメールサーバの種類やメールサーバに接続するアカウント名、パスワードの設定が必要です。次の手順で行なってください。

また、ここで説明している内容は一般的な手順です。ここでの設定が必要ない場合もあります。詳細が不明な場合はプロバイダにお問い合わせください。

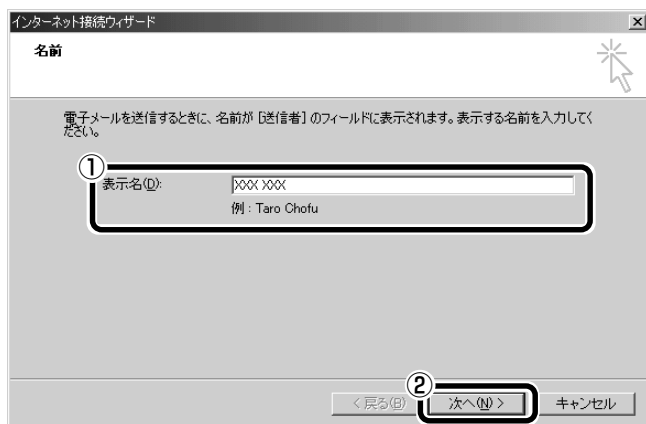
## 1 デスクトップ上の [Outlook Express] アイコン ( ) をダブルクリックする

Outlook Express が起動すると、[インターネット接続ウィザード] の [名前] 画面が表示されます。

## 2 [表示名] に名前を入力し①、[次へ] ボタンをクリックする②

ここで入力した名前が、メールを送信したとき [送信者] に表示されます。

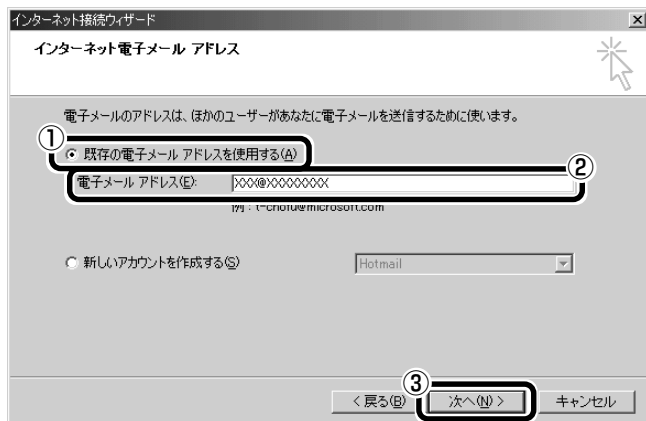
 文字の入力について ▶『基本編 4章3文字を入力する』



[インターネット電子メールアドレス] 画面が表示されます。

## 3 [既存の電子メールアドレスを使用する] をチェック ( ) ① した後、メールアドレスを入力し②、[次へ] ボタンをクリックする③

メールアドレスはプロバイダから割り当てられているメールアドレスを「[XXX @ XX.XX]」の形で、半角英数字で入力します。



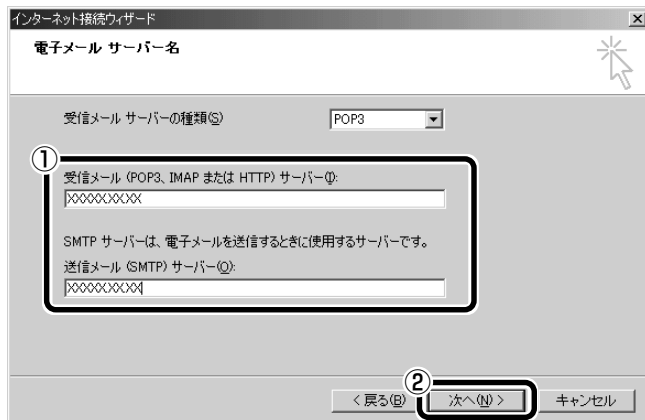
[電子メールサーバー名] 画面が表示されます。



・ [名前] 画面が表示されない場合は、Outlook Express 画面で [メールアカウントの設定] をクリックしてください。

#### 4 電子メールサーバ名を設定し①、[次へ] ボタンをクリックする②

受信メールサーバ、送信メールサーバの種類は、ご契約のプロバイダによって異なります。プロバイダから送付された書類をご確認のうえ、入力してください。

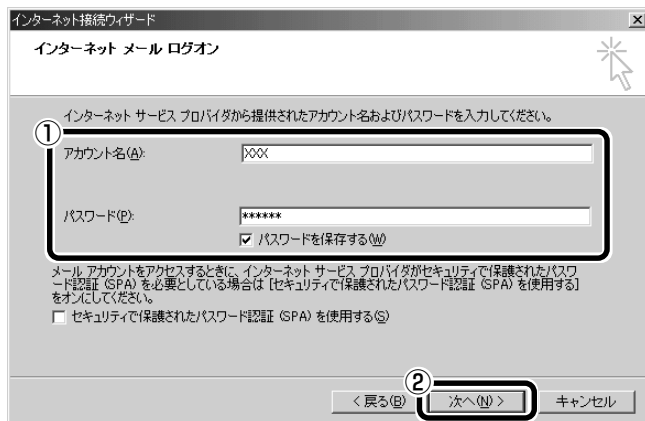


[インターネット メール ログオン] 画面が表示されます。

#### 5 アカウント名とパスワードを入力し①、[次へ] ボタンをクリックする②

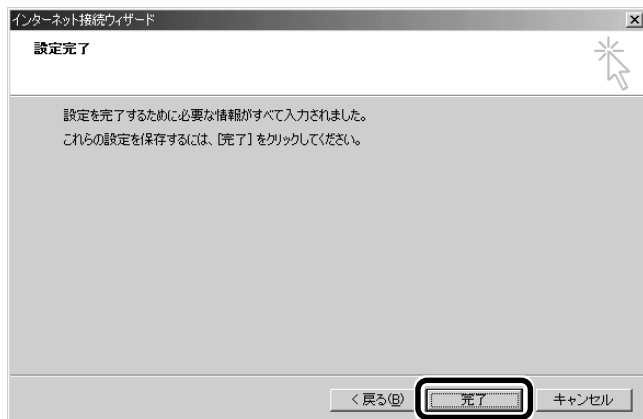
[アカウント名] には、ユーザ名を入力します。ユーザ名とパスワードは、プロバイダとの契約時に決まります。

プロバイダから送付された書類をご確認のうえ、入力してください。



[設定完了] 画面が表示されます。

## 6 [完了] ボタンをクリックする

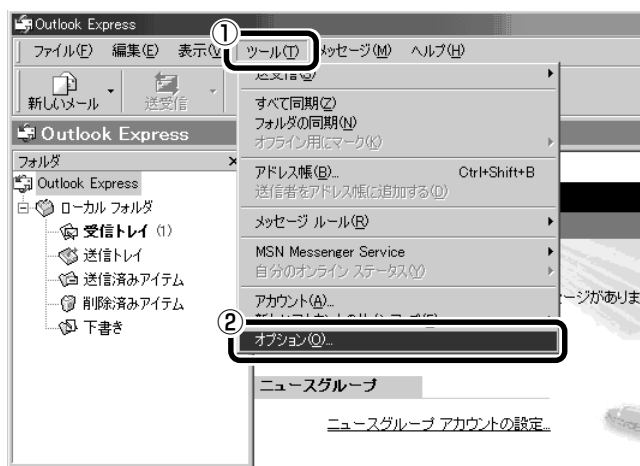


以上で設定は完了です。

## オプションの設定

メールをより便利に使うための設定をご紹介します。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [オプション] をクリックする②



[オプション] 画面が開きます。

## 2 各タブで設定を行う

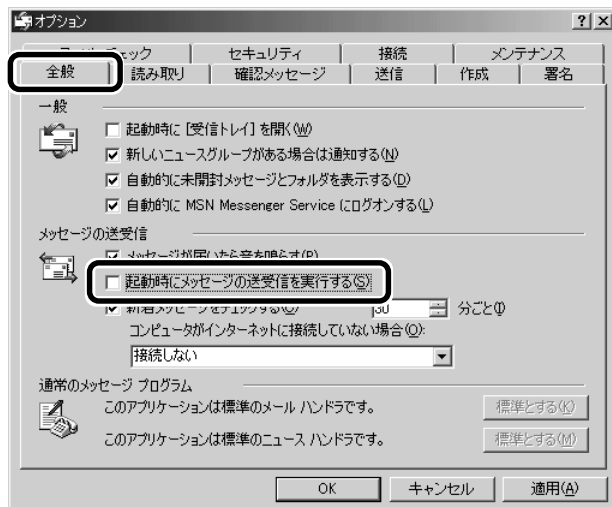
オプションの設定は必ずしも行う必要はありませんが、設定すると Outlook Express をより便利に使うことができます。本書では、オプション 1～4 の設定を行なった前提で説明しています。



## ■ オプション 1

[全般] タブの [メッセージの送受信] で [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす

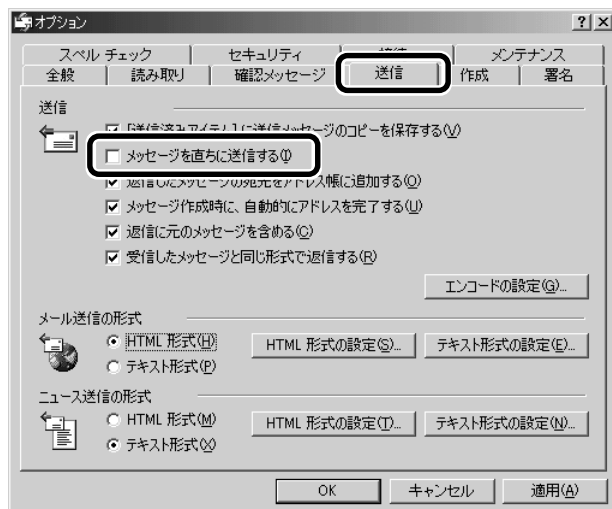
メールの送受信を行う時だけメールサーバに接続する設定になります。  
[起動時にメッセージの送受信を実行する] をチェックしていると、Outlook Express を起動すると同時にインターネットに接続してしまいます。通常は Outlook Express を起動してから、都合のいいときに手動で送受信を実行したほうが便利です。



## ■ オプション 2

[送信] タブの [送信] で [メッセージを直ちに送信する] のチェックをはずす

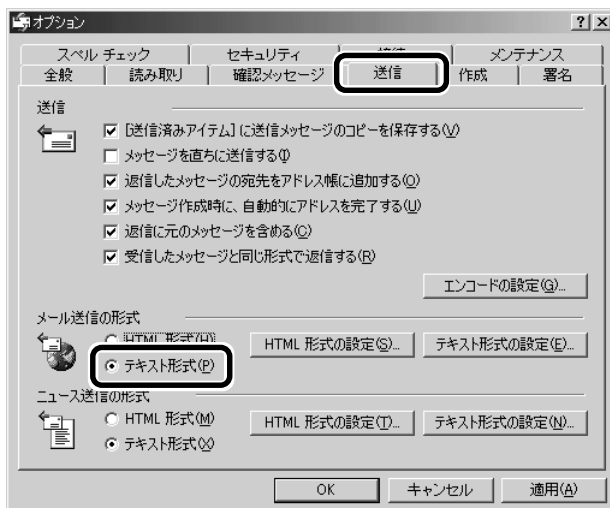
メールの送信をまとめて行う設定になります。  
メールを一通書かたびにインターネットに接続するのではなく、手動で送信を実行したほうが数通のメールをまとめて送りたい場合などに、便利です。



### ■ オプション3

[送信] タブの [メール送信の形式] で [テキスト形式] をチェック (  ) する

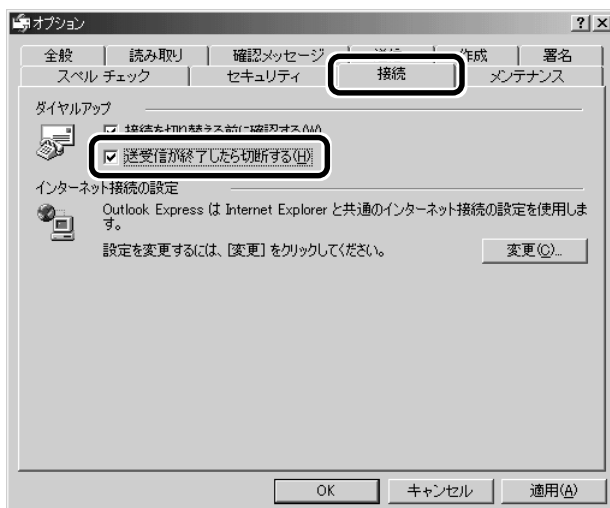
HTML 形式で送信した場合、相手のメールソフトが HTML 形式に対応していないと、メールが文字化けして、内容を読むことができない場合があります。通常は、どのメールソフトでも読めるように、テキスト形式でメールを送るほうが良いでしょう。



### ■ オプション4

[接続] タブで [送受信が終了したら切断する] をチェック (  ) する  
送受信が完了したら、自動的にインターネットの接続を切る設定になります。接続したままだと、メールの送受信を実行していなくても電話料金がかかります。一時的にメールの送受信を行うためであれば、送受信後は自動的に接続を切る設定にしておく便利です。

メール送受信の後、接続したままブラウザを起動してホームページの閲覧などを行う場合は、見終わったときに手で必ず接続を切ってください。



#### 用語

- ・テキスト形式

メールの本文が文字だけで記述されていること。文字の色や大きさなどは変更できる。

- ・HTML形式

メールの本文が htm ファイル形式で記述されていること。画像を貼りこんだり、リンクを貼れる。

- ・文字化け

文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。


### 3 [OK] ボタンをクリックする

以上で基本的なオプションの設定は完了です。

## 1. 起動する

Outlook Express を起動する代表的な方法を説明します。

### 方法1 - [Outlook Express] アイコン ( ) から起動する

- 1 デスクトップ上の [Outlook Express] アイコン (  ) をダブルクリックする

### 方法2 - メールボタンから起動する


ワンタッチでメールソフトを起動できます。

既定値では「Outlook Express」が起動するように設定されています。その他のソフトウェアに変更したい場合は、『基本編 7章 11 イージーボタン』をご覧ください。

- 1 機能切り替えスイッチを左にする①

- 2 ディスプレイを開く

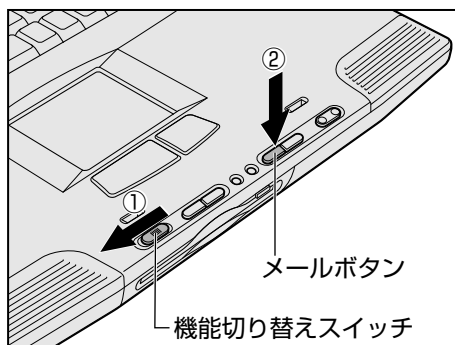
ディスプレイを閉じた状態では、ボタンは使えません。

- 3 メールボタン (  ) を押す②

パソコン本体の電源が OFF または休止状態のときも使用できます。メールボタンを2秒以上押し続けた後、ボタンから指を離してください。電源が入ります。電源を切っていた場合は [Windows へようこそ] 画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力してください。

続けてメール着信確認の機能が設定されているときは、新着メールの確認を行い、メールソフトが起動します。

 新着メールの確認について ▶ 「本章 4 新着メールをランプで確認する」



・メールボタンを使うには、イージーボタンのユーティリティのセットアップが必要です。

- ▶ 「基本編 1章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには」

## 2. Outlook Express画面

メニューバー  
すべての操作はこのメニューから行えます。

アドレス帳に登録されている  
連絡先の一覧が表示されます。

メールの管理を行います。  
「( )」は未読または未送信の  
メール数です。









インターネットへの接続状態を示します。

選択したメールの内容が表示されます。

メールの情報が表示されます。  
メールの差出人、用件、受け取った時間など

### ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。表示されるボタンは左画面の「フォルダ」で選択されている項目によって異なります。各ボタンは次の働きをします。

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
|  新しいメール | 新しいメールを作成します。<br>⇒「本節 3 メールを作成する」                         |  印刷   | メールの内容を印刷します。  |
|  返信     | メールを送ってきた相手にメールを返信します。<br>⇒「本節 5 メールを返信する／転送する」           |  削除   | メールを削除します。<br>⇒「本節 6 メールを削除する」                         |
|  全員へ返信  | 送信元以外にも入力されているメール<br>アドレスに返信します。<br>⇒「本節 5 メールを返信する／転送する」 |  送受信  | インターネットに接続し、メールの送受信<br>を行います。<br>⇒「本節 4 メールを送信する／受信する」 |
|  転送     | 受け取ったメールを別のメールアドレスに<br>転送します。<br>⇒「本節 5 メールを返信する／転送する」    |  アドレス | アドレス帳を開きます。<br>⇒「本節 8 アドレス帳を使う」                        |

## 3. メールを作成する

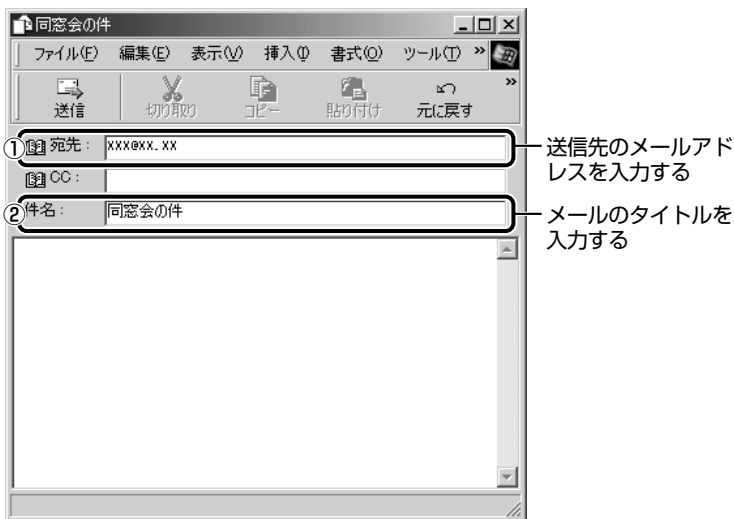
メールを送受信するときはインターネットへの接続が必要です。しかし、メールを作成したり、受け取ったメールを読むときなどは接続の必要はありません。メールの作成が終わったときに、インターネットへ接続しましょう。

送受信する ▶ 「本節 4 メールを送信する／受信する」

### 1 ツールバーの【新しいメール】ボタン ( ) をクリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

### 2 [宛先] ①と、[件名] ②を入力する



### 3 メールの本文を入力する

送信したい文章を入力してください。

件名やメールの本文を書くときは、半角カタカナを使用しないでください。

文字入力について ▶ 『基本編 4章 3 文字を入力する』

使用する文字について ▶ 「本節 9- メールで使える文字」



・インターネットに接続した状態でメールを作成していると、作成中も電話料金やプロバイダの利用料金がかかります。



・メールアドレスは半角で入力してください。

・メールを複数の相手に送る場合は、「;」（セミコロン）で区切ってメールアドレスを入力します。

・宛先以外の人に同じメールを送信しておきたい場合は、CCにメールアドレスを入力します。

・よく送信する相手は「アドレス帳」に登録しておくとう便利です。



アドレス帳

▶ 「本節 8 アドレス帳を使う」




・写真や資料など、他のアプリケーションで作成したデータもメールに添付して送ることができます。

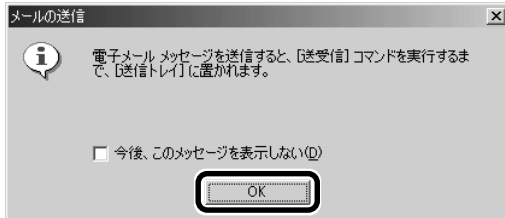


ファイルを添付する

▶ 「本節 9- メールにファイルを添付する」

**4 ツールバーの [送信] ボタン (  ) をクリックする**


[メールの送信] 画面が表示されます。

**5 [OK] ボタンをクリックする**

このとき、まだメールは送信されていません。作成したメッセージは、[送信トレイ] に保存されています。


メールをいくつか作成したい場合は、手順1から5を繰り返し行なってください。

すべてのメールの作成が終わったら、インターネットへ接続し、メールを送信します。

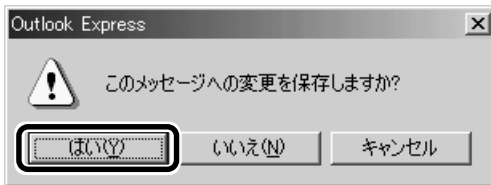
 メールを送信する ▶ 「本節 4 メールを送信する／受信する」

**メールを書くのを一時的にやめる**

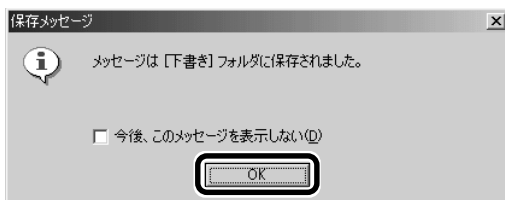
メールを書くのをいったんやめて、その内容を保存しておくことができます。

**1 メールを作成している画面の [閉じる] ボタン (  ) をクリックする**

「保存しますか？」のメッセージが表示されます。

**2 [はい] ボタンをクリックする**

[保存メッセージ] 画面が表示されます。

**3 [OK] ボタンをクリックする**

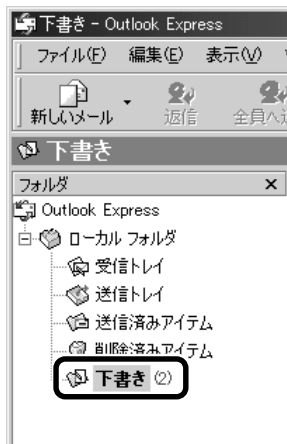
作成したメールが [下書き] フォルダに保存されました。



- ・宛先や件名が入力されていない場合は、注意をうながすメッセージが表示されます。内容を確認してください。
- ・[今後、このメッセージを表示しない] をチェックすると、今後この画面は表示されません。

## メールの続きを作成する

### 1 [フォルダ] の [下書き] をクリックする



右画面にメールの一覧が表示されます。

### 2 一覧から目的のメールをダブルクリックする



作成中のメール画面が開きます。

### 3 メールの続きを入力する


以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」の手順 4 以降をご覧ください。

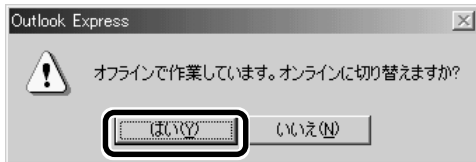





## 4. メールを送信する／受信する

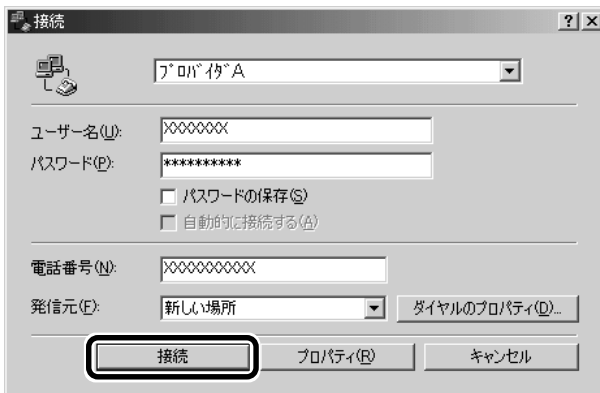
送信と受信はインターネットに接続したときに、同時に行えます。  
送信する場合、[送信トレイ] に保存されているメールが送信されます。受信した  
場合、メールは [受信トレイ] に保存されます。

- 1 ツールバーの [送受信] ボタン (  ) をクリックする  
メッセージ画面が表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックする

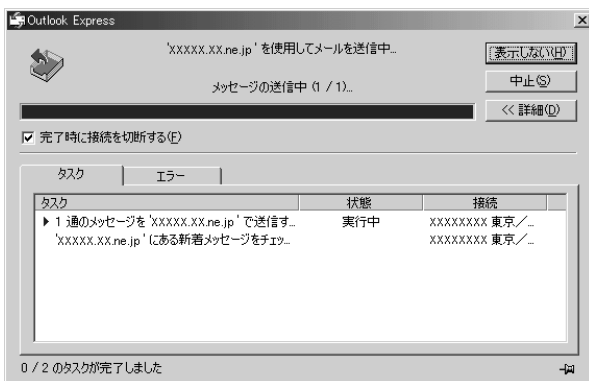


[接続] 画面が表示されます。

- 3 必要な内容を入力し、[接続] ボタンをクリックする  
 詳細について ▶ 「1章 2-4- インターネットに接続してみる」



プロバイダのメールサーバに接続し、送受信が始まります。



[送信トレイ] に保存されていたメールが送信され、送信済みのメールは [送信済みアイテム] に保存されます。

その後、届いているメールをチェックし、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。

メールの送受信を完了すると、自動的に接続を切断します。



・送受信の指示を行なった後に、メールの編集や送受信の取り消しはできません。

## 2章

電子メールを使おう

## 受信メールを見る

受信したメールは [受信トレイ] に保存されています。

### 1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする

[受信トレイ] のカッコ内には、未開封メールの件数が表示されます。



右側に受信したメールの一覧が表示されます。

まだ読んでいないメールは送信者、件名などが太字で表示されます。

[送信者] の横にあるマークには次のような意味があります。

... 以前開いたメール (開封済み)

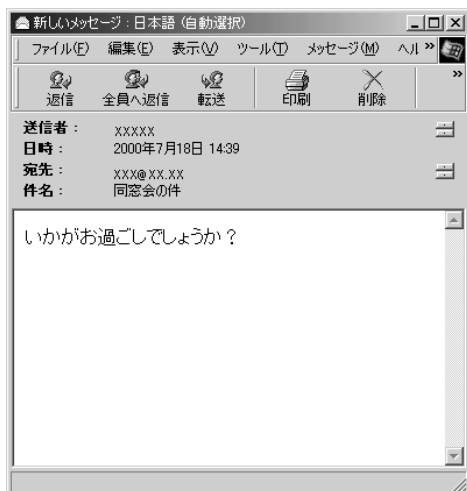
... 読んでいないメール (未開封)

..... ファイルが添付されている

詳細について ▶ 「本節 9- メールに添付されたファイルを開く」

### 2 見たいメールをダブルクリックする

メールが開きます。



- ・メールが長い場合は、スクロールして読んでください。
- ・ファイルが添付されているメールには、[件名]の下に、添付ファイルの名称が表示された [添付] が追加されます。



詳細について

- ▶ 「本節 9- メールに添付されたファイルを開く」

- ・メールをクリックした場合、メールの内容が右下の画面に表示されます。

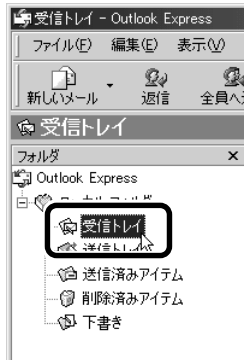
## 5. メールを返信する／転送する

受信したメールに返事を出すことを返信といいます。受信したメールを別の相手に送ることを転送といいます。

どちらも、元のメールの本文が自動的にコピーされるので、返事を入力したり、別の相手に伝えるのに便利です。また返信の場合、相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。

### 返信する

#### 1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。

#### 2 一覧から返信したいメールをクリックする

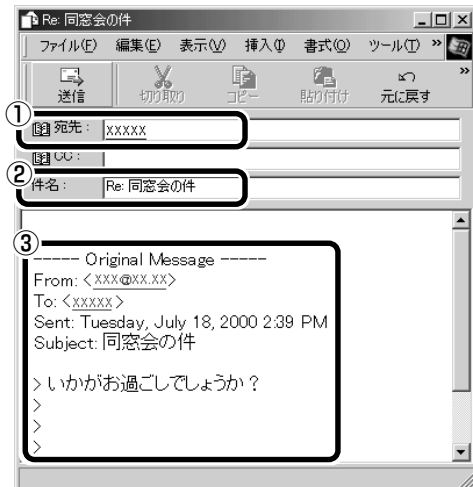
#### 3 ツールバーの [返信] ボタン ( ) をクリックする

メールの作成画面が表示されます。

[宛先] にはメールをくれた相手のアドレスが自動的に表示されます①。

[件名] には元のタイトルに「Re:」がついて表示されます②。

本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています③。




#### 4 メール本文を入力する

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」「本節 4 メールを送信する／受信する」をご覧ください。



・メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

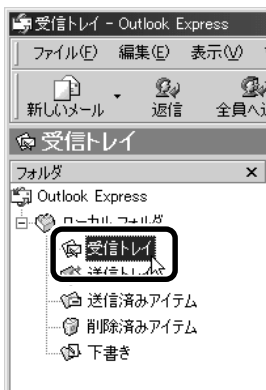


・手順3で [全員へ返信] ボタン (  ) をクリックすると、受信メールの宛先やCCに含まれているアドレスすべてが、それぞれ [宛先] と [CC] に入力されます。

・「Re:」は「Response: 返答、返事」の略です。

## 転送する

### 1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。

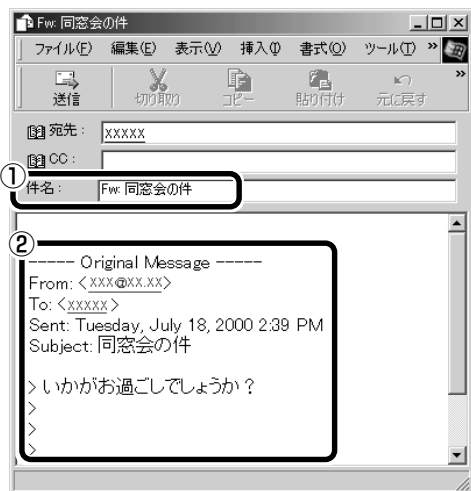
### 2 一覧から転送したいメールをクリックする

### 3 ツールバーの [転送] ボタン ( ) をクリックする

メールの作成画面が表示されます。

[件名] には元のタイトルに「Fw:」がついて表示されます①。

本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています②。



### 4 [宛先] を入力する

### 5 メール本文を入力する

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」「本節 4 メールを送信する／受信する」をご覧ください。



・メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。



・「Fw:」は「Forward: 転送する」の略です。

## 6. メールを削除する

受信したメールやすでに送信したメールは削除しないと増えていきます。不要なメールはまめに削除するようにしましょう。

### 1 【フォルダ】で削除したいメールが保存されている場所をクリックする

一覧が表示されます。

### 2 一覧から削除したいメールをクリックする

### 3 ツールバーの【削除】ボタン ( ) をクリックする

選択したメールが一覧からなくなります。このとき、まだメールは削除されていません。[削除済みアイテム] に移動しています。

### 4 【フォルダ】の【削除済みアイテム】をクリックする

削除したメールの一覧が表示されます。

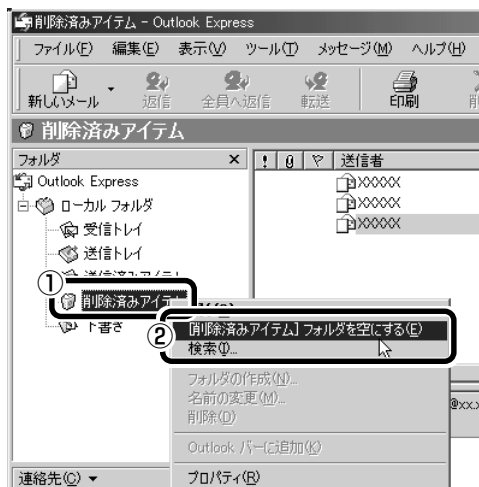


間違えて削除してしまったメールは、ドラッグアンドドロップすると元の場所へ戻すことができます。



・送信したメールも受信したメールも最初に削除したときは [削除済みアイテム] に移動します。

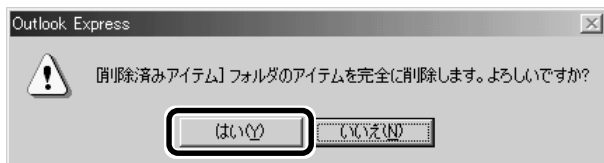
- 5 [削除済みアイテム] を右クリックし①、表示されたメニューから [[削除済みアイテム] フォルダを空にする] をクリックする②



確認のメッセージが表示されます。

ここで削除したメールはもう見ることはできません。削除する前によく確認してください。

- 6 [はい] ボタンをクリックする



[削除済みアイテム] にあるメールがすべて削除されます。

## 7. メールを整理する

受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。Outlook Express では、[受信トレイ] の他にフォルダを作り、メールの相手や内容によって分類することができます。また、不要なメールは削除するなど、[受信トレイ] を常に整理しておく、あとでメールを探すときに便利です。

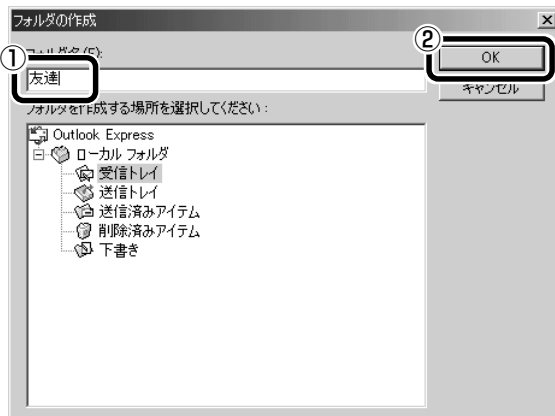
### メールを分類する

- 1 [フォルダ] の [受信トレイ] を右クリックし①、表示されたメニューから [フォルダの作成] をクリックする②



[フォルダの作成] 画面が表示されます。

- 2 フォルダ名を入力し①、[OK] ボタンをクリックする②  
ここでは「友達」と入力します。



標準設定では、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。設定を変更している場合は、設定先のフォルダに保存されます。

## 2章

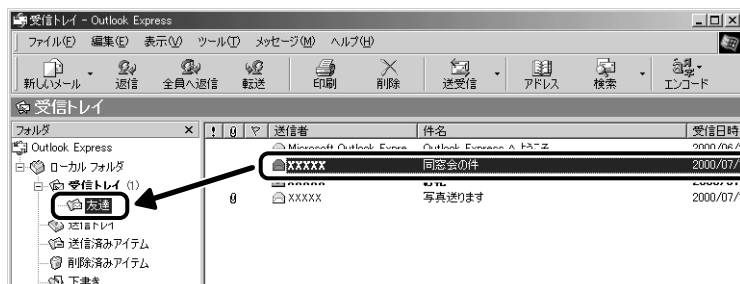
電子メールを使おう

[受信トレイ] に、新しくフォルダが作成されました。



### 3 移動したいメールを、作成したフォルダにドラッグアンドドロップする

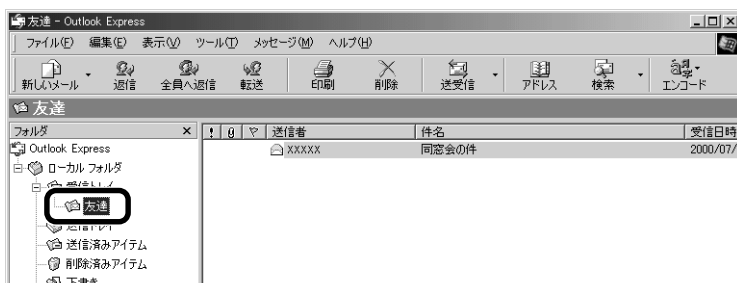
ドラッグアンドドロップ ▶ 『基本編 1章 3 基本操作を覚える』



選択したメールが新しいフォルダに移動します。

### 4 作成したフォルダをクリックする

フォルダ内のメールの一覧が表示されますので、移動したメールがあるか確認してください。



・複数のメールを指定するときは、(Ctrl)キーを押しながらクリックします。連続して表示されているメールを指定するときは、(Shift)キーを押しながらクリックします。



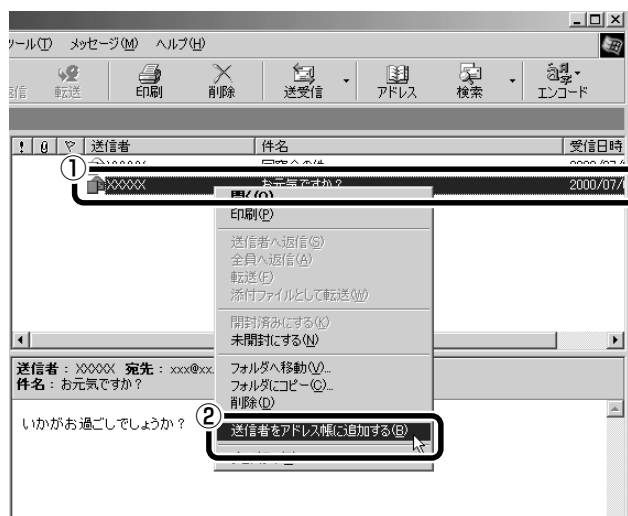
## 8. アドレス帳を使う

よくメールをやり取りする相手のメールアドレスは、「アドレス帳（住所録）」に登録しておくとう便利です。

「アドレス帳」は、メールアドレス以外の情報も管理できるようになっていますが、ここではメールで利用する機能について紹介します。その他の詳細については、『Outlook Express のヘルプ』をご覧ください。

### メールをくれた相手をアドレス帳に登録する

- 1 一覧から登録したいアドレスのメールを右クリックし①、表示されたメニューから「送信者をアドレス帳に追加する」をクリックする②




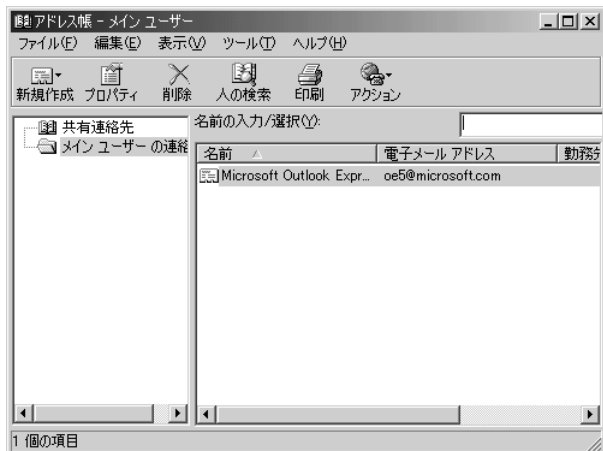
[アドレス帳] に登録されました。


表示名などを変更する場合は、アドレス帳を開いて修正してください。

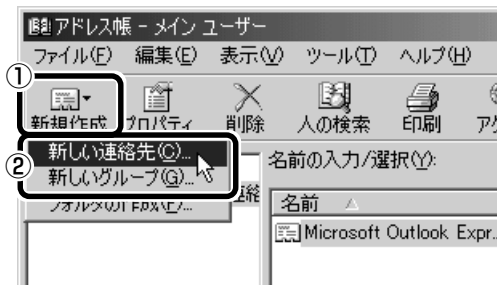
 アドレス帳の修正 ▶ 「本項 - アドレス帳を修正する」

## 新しいアドレスを登録する

- 1 ツールバーの【アドレス】ボタン (  ) をクリックする  
[アドレス帳] 画面が表示されます。




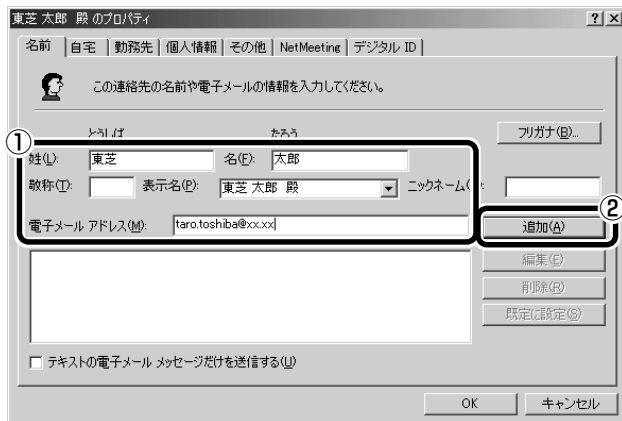
- 2 ツールバーの【新規作成】ボタン (  ) をクリックし①、  
表示されたメニューから【新しい連絡先】をクリックする②



[のプロパティ] 画面が表示されます。

- 3 【名前】タブで【姓】【名】【表示名】【電子メールアドレス】を入力し①、【追加】ボタンをクリックする②

 文字入力について ▶ 『基本編 4章 3 文字を入力する』

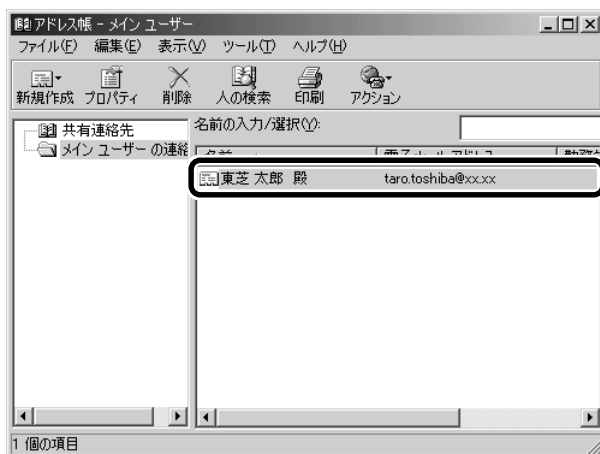


入力したメールアドレスは「標準の電子メール」として追加されます。




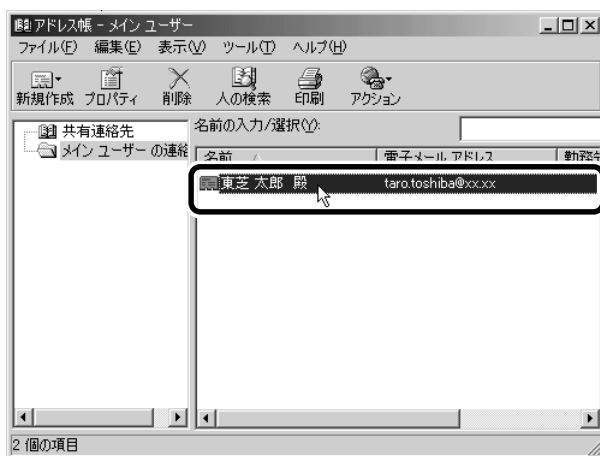
- ・電子メールアドレスは、半角英数字で入力してください。
- ・[表示名]に入力した文字は、メールを受け取る相手にもそのまま表示されます。「様」「殿」といった敬称は、この[表示名]に追加することをおすすめします。

#### 4 プロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする アドレス帳に追加されました。



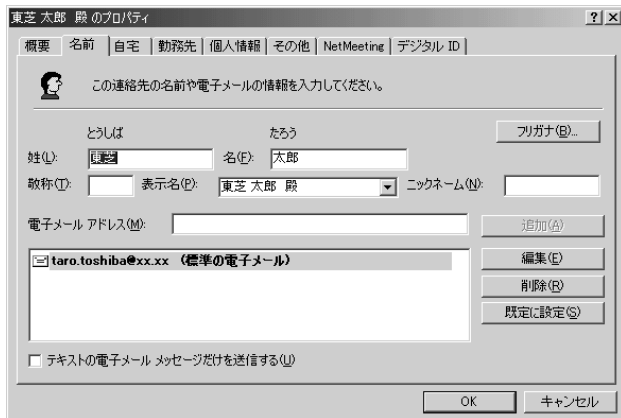
### アドレス帳を修正する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン (  ) をクリックする  
[アドレス帳] 画面が表示されます。
- 2 修正したい名前をダブルクリックする



[XXXXのプロパティ] 画面が表示されます。

### 3 [名前] タブで編集したい内容を変更する



電子メールアドレスを編集する場合は、[編集] ボタンをクリックします。  
「電子メールアドレス」が反転表示されたらアドレスを修正してください。



### 4 修正が終わったら、[OK] ボタンをクリックする

[アドレス帳] 画面に戻ります。

## アドレス帳を使って宛先を入力する

#### 1 ツールバーの [新しいメール] ボタン ( ) をクリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

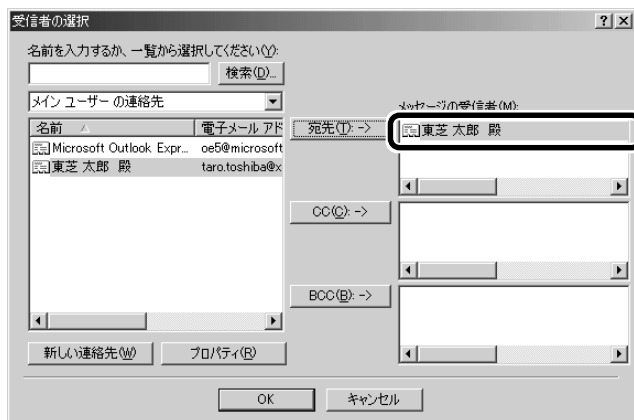
#### 2 [宛先] ボタン ( 宛先 ) をクリックする

[受信者の選択] 画面が表示されます。

#### 3 送信したい相手をクリックし①、[宛先] ボタンをクリックする②



[メッセージの受信者] に選択した名前が入ります。



同じメールを複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返し行い、[宛先] に追加してください。

#### 4 [OK] ボタンをクリックする

[メッセージの作成] 画面に戻ります。

メールの宛先に、登録された表示名が入力されています。



#### 5 メールの件名、本文を入力し、メールを作成する

以降の操作は、「本節 3 メールを作成する」「本節 4 メールを送信する/受信する」をご覧ください。



・「写し」として送る場合は、[宛先] ボタンの代わりに、[CC] または [BCC] ボタンをクリックします。「CC」は Carbon Copyの略で、文書の宛先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「BCC」はBlind Carbon Copyの略で、「CC」と同様の役割です。「宛先」、「CC」で指定したアドレスはメールを受け取ったすべての人に表示されますが、「BCC」で指定したアドレスは受け取った本人にしか表示されません。送信したことを他の人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

## 9. 知っておくと便利なこと

### メールで使える文字

メッセージ作成中にパソコンの画面上で読める文字でも、メールで送ったときに相手のパソコンの画面では正しく表示されず、「文字化け」する文字があります。メッセージの本文や件名で使用する文字には気をつけましょう。

使用できる文字	半角英数字、記号 全角の漢字、ひらがな、カタカナ キーボードに表示されている記号（全角）
使用しないほうがよい文字	半角カタカナ 丸付き数字（①、②、③ など） ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ など） 罫線記号（ㄣ、ㄗ、ㄟ など） 音符記号（♪、♭ など） 論理記号（∩、∃、∪ など） 特殊文字（㊤、(株)、cm など） 旧字体、外字など



相手のパソコンが日本語環境（AT互換機）以外のコンピュータを使っている場合、全角文字が文字化けしてしまふことがあります。

### 署名

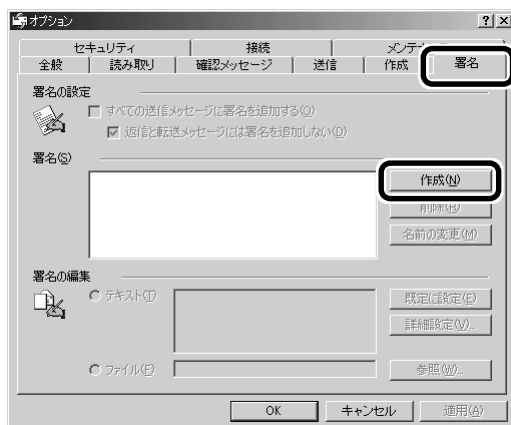
メッセージの最後に、自分の名前やメールアドレスなど、差出人情報を入れることもエチケットのひとつです。次の手順で、あらかじめ作成しておく便利です。

#### 1 メニューバーの【ツール】をクリックし①、表示されたメニューから【オプション】をクリックする②

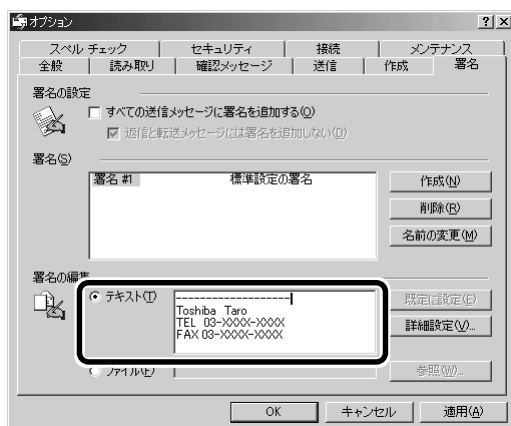


【オプション】画面が表示されます。

## 2 [署名] タブで [作成] ボタンをクリックする

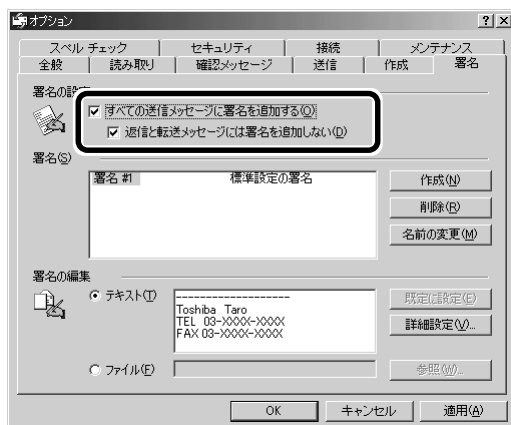


## 3 [署名の編集] に差出人情報として入れたい内容を入力する



## 4 [すべての送信メッセージに署名を追加する] をチェックする

返信や転送するメールにも署名を追加する場合は、[返信と転送メッセージには署名を追加しない] のチェックをはずしてください。



## 5 [OK] ボタンをクリックする

## 6 ツールバーの【新しいメール】ボタン ( ) をクリックする

メール作成画面に署名が挿入されています。



## メールにファイルを添付する

画像や文書などのデータを送るときは、メールにファイルとして添付します。

### 1 メールを作成する

 詳細について ▶ 「本節 3 メールを作成する」

### 2 メニューバーの【挿入】をクリックし①、表示されたメニューから【添付ファイル】をクリックする②



【添付ファイルの挿入】画面が表示されます。



### 3 添付したいファイルを選択し①、[添付] ボタンをクリックする②

ここでは [My Pictures] に保存されている「冰山」というファイルを選択します。




[メッセージの作成] 画面に戻ります。

[件名] の下に、添付したファイルの名称が表示された [添付] が追加されます。



添付したいファイルがいくつかある場合は、手順 2 と 3 を繰り返し行ってください。

### 4 メールを送信する

 詳細について ▶ 「本節 4 メールを送信する／受信する」



- ・受信側のパソコンに、添付したファイルを開くためのアプリケーションがセットアップされている必要があります。
- ・メールに添付するファイルは、できるだけファイルサイズを小さくしてください。サイズが大きいと、送信に時間がかかったり、エラーが発生することがあります。また、プロバイダによって扱えるメールのファイルサイズが異なりますので、サイズの大きいファイルは送信できない場合があります。複数のファイルを添付する場合は、ファイルサイズの合計に注意してください。

## 2章

電子メールを使おう

## メールに添付されたファイルを開く


### ファイルを開くときの注意

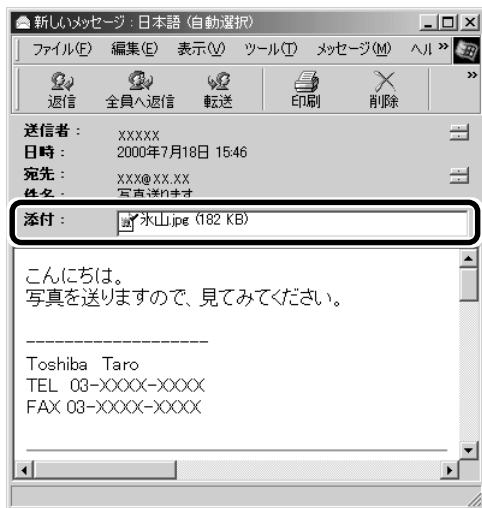
コンピュータウイルスが添付ファイルで送られてくることがあります。知らない差出人や、内容についての安全性が確認できない添付ファイルは、コンピュータウイルスに感染している場合があります。ウイルスのチェックを行ってからファイルを開くことをおすすめします。

### ファイルを開く

添付ファイルを開くには、添付ファイルに対応したアプリケーションがインストールされている必要があります。

### 1 メールを開く

受信メールを開いたとき、[件名]の下に[添付]が表示されている場合は、ファイルが添付されています。また、メール一覧では[送信者]の横に[添付ファイル]アイコン（）が表示されています。



ファイル名をダブルクリックして添付ファイルを開くこともできますが、この場合ファイルの種類によっては、開くときに警告のメッセージが表示されます。添付ファイルにはウイルスが含まれている場合があるためです。ここでは、いったんファイルを保存してから開く方法を説明します。



・コンピュータウイルス  
ソフトやハードウェアを破壊してコンピュータにトラブルを発生させる悪質なプログラム。「ウイルス」と呼ぶことも多い。また、コンピュータ内に侵入することを「感染する」という。自己増殖したり、ハードディスク内のデータを破壊してシステムに障害を及ぼすものもある。ウイルスを検出／除去するソフトも市販されている。



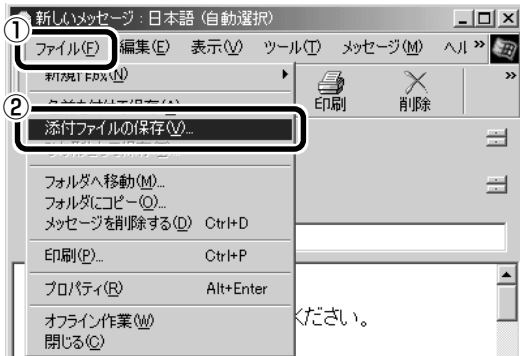
・本製品では「McAfee Virus Scan」でウイルスのチェックができます。



McAfee VirusScan

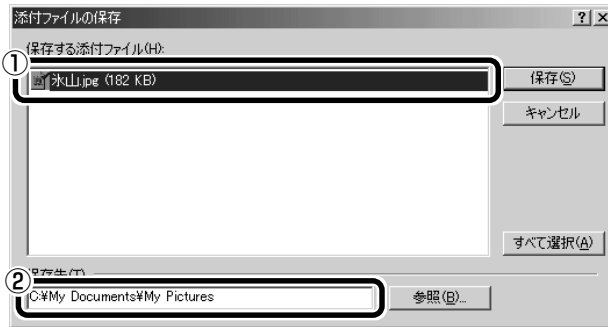
▶ 『活用編 1章 2-McAfee Virus Scan』

## 2 メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【添付ファイルの保存】をクリックする②



「添付ファイルの保存」画面が表示されます。

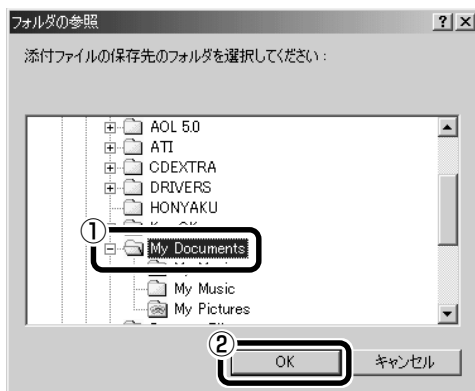
## 3 保存する添付ファイル①と、【保存先】②を選択する



表示された保存先と別のフォルダに保存する場合は、【参照】ボタンをクリックしてください。

【フォルダの参照】画面が表示されます。

保存先のフォルダを選択し①、【OK】ボタンをクリックしてください②。  
ここでは【My Documents】フォルダに保存します。



## 4 【保存】ボタンをクリックする

ファイルが保存されました。

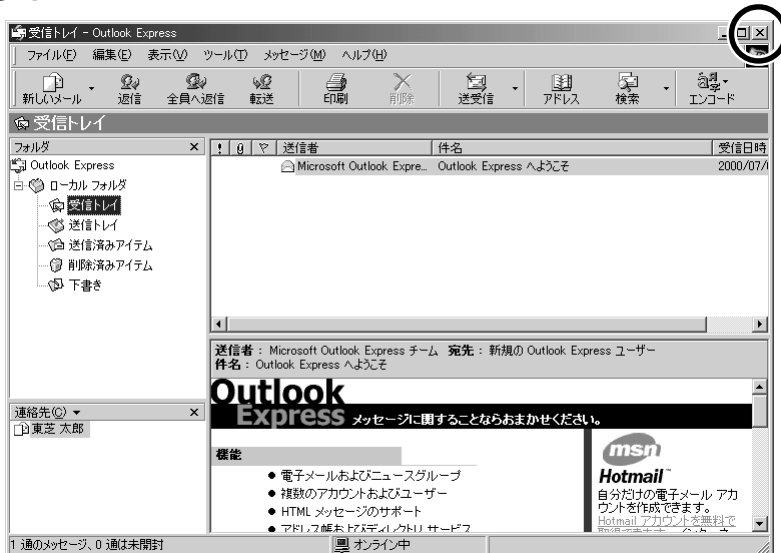
安全性が確認できないファイルは、開く前にウイルスチェックをしてください。

 ウイルスチェックソフト ▶ 『活用編 1章 2-McAfee VirusScan』

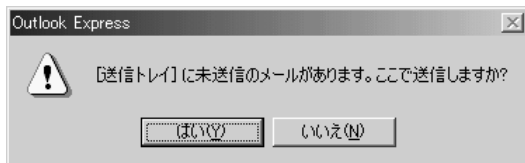
## 5 保存先フォルダを開き、フォルダをダブルクリックする

## 10. Outlook Expressを終了する

### 1 Outlook Express 画面の【閉じる】ボタン (X) をクリックする



送信トレイに送信していないメールがある場合、送信を確認するメッセージが表示されます。



送信してから終了する場合は、【はい】ボタン、送信しないで終了する場合は【いいえ】ボタンをクリックしてください。

画面を閉じたら、インターネット接続が終了しているか確認してください。タスクバーの【接続中】アイコン ( ) が消えていれば、接続は終了しています。

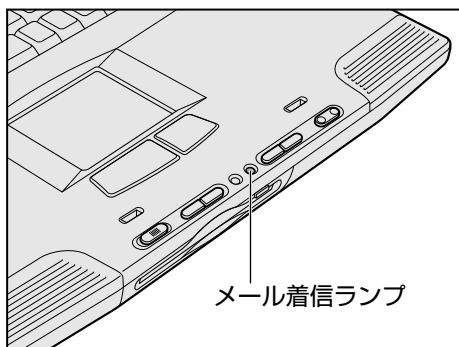
# 4

## 新着メールをランプで確認する

メール着信ランプで、新着メールがあるかどうかを確認できます。新着メールがあると、メール着信ランプが点灯します。また、メッセージや音で知らせることもできます。

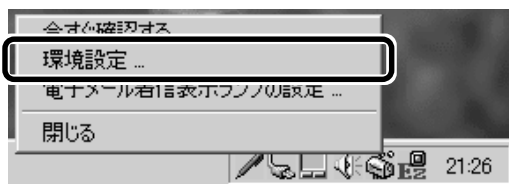
この機能を使用するためには、あらかじめ設定が必要です。

\* POP3 をサポートしないプロバイダ（AOL など）と契約してインターネット接続を行なっている場合、新着メール確認機能を使うことはできません。

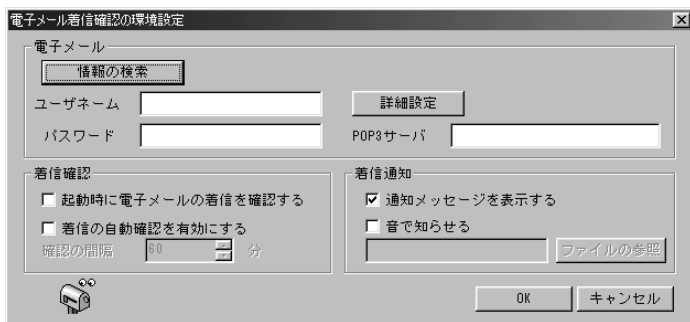


### 設定方法

- 1 タスクバーの ( ) アイコンを右クリックして、表示されるメニューから [環境設定] をクリックする



- 2 必要な項目を設定する



### ■ [電子メール]

ご使用のメールボックス情報を設定します。必ず入力してください。

ユーザー名 : 受信メールサーバのアカウント名を入力します。

パスワード : 受信メールサーバのパスワードを入力します。

POP3 サーバ : 受信メールサーバ名を入力します。

詳細について ▶ 『各プロバイダの説明書』



・メール着信機能を使うには、イーージーボタンのユーティリティのセットアップが必要です。

◎ 『基本編 1 章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには』

・新着メールを確認するときは、アクセスに応じて電話料金およびプロバイダへの接続料金がかかります。

## 2 章

電子メールを使う



・ [情報の検索] ボタンをクリックすると、メール設定の情報が表示されます。新着メールをチェックしたいユーザー名を選択すると、[ユーザー名] や [POP3 サーバ] が入力されます。

## ■ [着信確認]

新着メールを確認する間隔を設定します。

実行したい項目をチェックしてください。必ずチェックする必要はありません。チェックした場合、着信確認のたびに [接続] 画面でパスワードの入力などがが必要です。[接続] 画面で [パスワードの保存] と [自動的に接続する] をチェックしておくとう入力する手間が省けます。

### 起動時に電子メールの着信を確認する

：システムを起動したときに、新着メールがあるか確認します。

### 着信の自動確認を有効にする

：設定時間ごとに新着メールがあるか確認します。  
[確認の間隔] で時間を設定してください。

## ■ [着信通知]

新着メールがきたときに、ランプ点灯以外の通知方法を設定します。実行したい項目をチェックしてください。

通知メッセージを表示する：新着メールがくると、メッセージを表示します。  
音で知らせる：新着メールがくると、音を鳴らします。音は [ファイルの参照] から設定できます。

## 3 [OK] ボタンをクリックする

### 新着メールの確認方法

新着メールの確認を行うときは、回線に接続されていなければ自動的に接続し、確認後、切断します。あらかじめ回線に接続されていたときは切断されません。自動的に接続しない場合は、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックし、[インターネットオプション] - [接続] タブの [ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする] が選択されているか確認してください。メール着信ランプの点灯後メールソフトを起動した場合、メールソフトを終了するとメール着信ランプは消灯します。また、パソコンの電源をOFFにしてもメール着信ランプが消灯します。

新着メールがある場合、次の画面が表示されます。



・着信確認には、電話料金およびプロバイダへの接続料金がかかります。間隔を短く設定すると料金が高くなります。




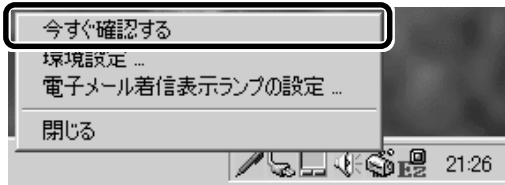
・[コントロールパネル] 画面に [インターネットオプション] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

## 方法1

## 1 メールボタンを押す

 詳細について ▶ 「本章 3-1 起動する」

## 方法2

1 タスクバーの (  ) アイコンを右クリックして、表示されるメニューから [今すぐ確認する] をクリックする

(表示例)

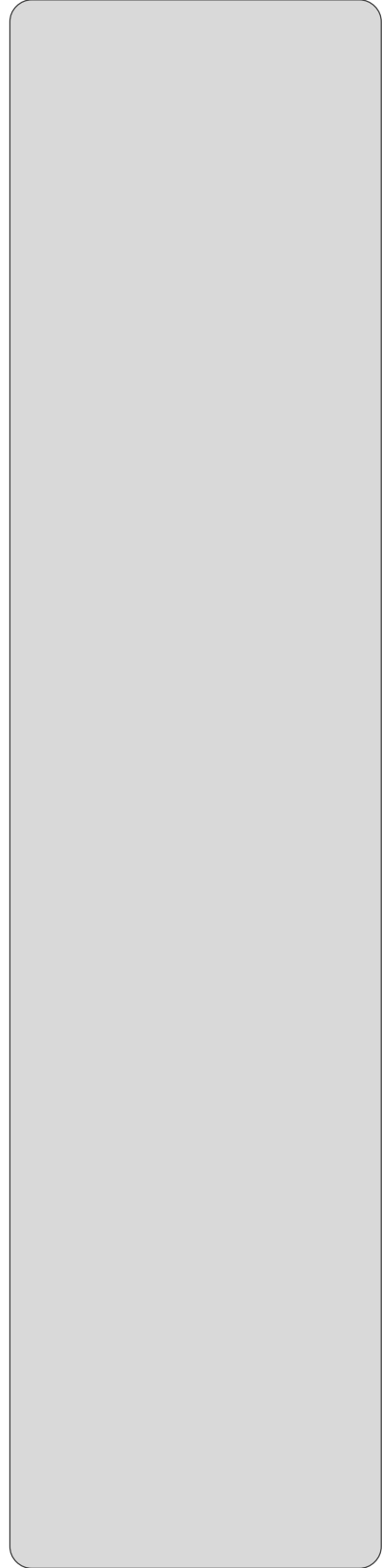
## 方法3

## 1 設定時間ごと、またはシステム起動時に確認する

 詳細について ▶ 「本節 - 設定方法」



・方法1の場合、ご使用のメールソフトの設定により新着メールの内容も確認できません。方法2,3の場合、新着メールの内容を確認したいときは、ご使用のメールソフトで送受信を行う必要があります。





# 3章

## Q&A 集

本章では、困ったときの対処方法を説明します。  
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

- 1 インターネットに接続できないとき ..... 82
- 2 インターネット エクスプローラ Internet Explorer を使うとき ..... 90
- 3 アウトルック エクスプレス Outlook Express を使うとき ..... 92
- 4 接続後の様子がおかしいとき ..... 100

## パソコンが応答しない



「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません」と表示される



● [ダイヤルアップネットワーク] の設定が間違っている

次の項目の設定に間違いがあると、上記のエラーメッセージが表示され、接続できません。

- ・ダイヤルアップ時のユーザID
- ・ダイヤルアップ時のパスワード
- ・IPアドレス
- ・ネームサーバアドレス

次の手順でそれぞれの設定を確認してください。

- ① [スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする  
[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。
- ② 接続に使用するアイコンをダブルクリックする  
[XX (接続先) に接続中] 画面が表示された場合は、  
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。  
[接続] 画面が表示されます。
- ③ [ユーザー名] と [パスワード] を確認する  
ユーザ名などの設定内容については契約先のプロバイダに  
連絡し、設定に問題がないか確認してください。
- ④ [接続] 画面で [プロパティ] ボタンをクリックする  
[XX (接続先)] 画面が表示されます。
- ⑤ [ネットワーク] タブで [使用できるネットワークプロトコル] の [TCP/IP] がチェックされているか確認する  
インターネット接続には TCP/IP 接続だけを使用するので、  
[NetBEUI] と [IPX/SPX 互換] のチェックをはずしてください。
- ⑥ [ネットワーク] タブで [使用できるネットワークプロトコル] の [TCP/IP 設定] ボタンをクリックする  
[TCP/IP 設定] 画面が表示されます。
- ⑦ [IPアドレスを指定する] の設定と、[ネームサーバアドレスを指定する] の設定を確認する  
設定できないIPアドレスを指定しているか、ネームサーバアドレスを指定するのを忘れている可能性があります。IPアドレスなどの指定はプロバイダにより異なります。契約先のプロバイダに連絡し、設定状態に問題がないか確認してください。
- ⑧ [TCP/IP 設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑨ [XX (接続先)] 画面で [OK] ボタンをクリックする

**●ユーザー名またはパスワードが間違っている**

- ① [スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする  
[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。
- ② 接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする  
[XX (接続先)] 画面が表示されます。
- ③ [セキュリティ] タブの [認証] で [ユーザー名] と [パスワード] が正しく入力されているか確認し、間違っていたら入力し直す
- ④ [OK] ボタンをクリックする  
接続をやり直しても同じメッセージが表示される場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

**「ダイヤル中」がしばらく続いた後、「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」と表示される****●電話番号の設定が間違っている**

次の点をそれぞれ確認してください。

**■ [ダイヤルアップネットワーク] の電話番号の設定**

- ① [スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする  
[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。
- ② 接続に使用するダイヤルアップアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする  
[XX (接続先)] 画面が表示されます。
- ③ [全般] タブで [電話番号] が正しいか確認する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

**■ [ダイヤルのプロパティ] の電話番号の設定**


- ① [コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする  
[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。
- ② 次の点を確認する
  - ・ 発信元の市外局番を正しく設定しているか
  - ・ 外線発信番号に不要な数字が登録されていないか
- ③ [OK] ボタンをクリックする



・ パスワードは入力すると\* (アスタリスク) で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。



・ 携帯電話 / PHS を使用して通信する場合は、市外局番に 0000 (実在しない市外局番) を設定してください。



## 「Microsoft ダイアルアップアダプタがインストールされていないか、または正常に応答しません」と表示される



### ● [TCP/IP] が組み込まれていない

次の手順で設定し直してください。

#### ■ TCP/IP の確認

- ① [コントロールパネル] を開き、[ネットワーク] をダブルクリックする  
[ネットワーク] 画面が表示されます。
- ② [ネットワークの設定] タブで [現在のネットワークコンポーネント] に、TCP/IP が組み込まれているか確認し、表示されていない場合は、[追加] ボタンをクリックする  
[ネットワークコンポーネントの種類を選択] 画面が表示されます。
- ③ [プロトコル] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする  
[ネットワークプロトコルの選択] 画面が表示されます。
- ④ [製造元] で [Microsoft]、[ネットワークプロトコル] で [TCP/IP] を選択する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [ネットワーク] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑦ メッセージに従って再起動する

● [ダイヤルアップアダプタ] が正常に応答しない

次の手順で設定し直してください。

■ダイヤルアップアダプタの削除

- ① [コントロールパネル] を開き、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする
- ② [Windows ファイル] タブの [コンポーネントの種類] で [通信] を選択し、[詳細] ボタンをクリックする [通信] 画面が表示されます。
- ③ [コンポーネントの種類] で [ダイヤルアップネットワーク] のチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックする
- ④ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ メッセージに従って再起動する

■ダイヤルアップアダプタの追加

- ① [コントロールパネル] を開き [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする
- ② [Windows ファイル] タブの [コンポーネントの種類] で [通信] を選択し、[詳細] ボタンをクリックする [通信] 画面が表示されます。
- ③ [コンポーネントの種類] で [ダイヤルアップネットワーク] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする
- ④ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ メッセージに従って再起動する

## 発信音がおかしい／聞こえない

発信音はしているが、呼び出し音が聞こえない  
「回線が使用中です」、「回線はビジーです」、「応答なし」、「接続を確立できません」と表示される

**●回線が使用されている**

電話機や他のパソコンなどで、その回線を使用していないか確認してください。

**●ダイヤル方法の設定が間違っている**

次の手順で設定を確認してください。

① [コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。

② [ダイヤル方法] の [トーン] / [パルス] をご使用の回線にあわせて設定する

NTTの加入回線の場合、プッシュ回線は [トーン]、ダイヤル回線は [パルス] を選んでください。

また、ISDN 回線の場合は [トーン] になります。

どの回線を使っているかは、明細書などで契約の電話会社との契約書類をご覧ください。

③ [ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする


**●既定の回数以上、再発信（リダイヤル）している**

・ 内蔵モデムは、3分以内に4回以上再発信した場合、話中になります。この場合、3分以上たってから再発信してください。また、話中にならないようにするために、再発信する場合は、再発信の間隔を1分以上あけてください。

「発信音が聞こえません」と表示される

**●モジュラーケーブルが接続されていない**

モジュラーケーブルの接続を確認してください。

 参考 モジュラーケーブルの取り付け

▶ 「1章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」



・ 使用しているアプリケーションによっては、[パルス] の場合 [10pps] [20pps] の設定が必要です。詳しくは、『アプリケーションのヘルプ』をご覧ください。



- 内線／外線の区別がある電話回線で使用している
- 0発信の回線に接続している場合の設定がされていない  
設定を行う前に、次のことを確認してください。

- ・0発信で外線接続する回線で接続する場合、専用の電話機以外では接続できない場合があります。
- ・構内交換機（PBX）を介した電話回線は、直接モデム装置を接続できない場合があります。詳しくはPBX設置業者やPBX装置のお取り扱い元にご確認ください。

0発信で使用する場合、次の〔ダイヤルのプロパティ〕と〔モデムのプロパティ〕の設定を行なってください。

#### ■ダイヤルのプロパティの設定

- ①〔コントロールパネル〕を開き、〔テレフォニー〕をダブルクリックする  
〔ダイヤルのプロパティ〕画面が表示されます。
- ②〔所在地情報〕タブで〔外線発信番号〕の〔市内通話〕、〔市外通話〕にそれぞれ半角で0（ゼロ）を入力し、〔OK〕ボタンをクリックする
- ③〔ダイヤルのプロパティ〕画面で〔OK〕ボタンをクリックする

#### ■モデムのプロパティの設定

- ①〔コントロールパネル〕を開き、〔モデム〕をダブルクリックする  
〔モデムのプロパティ〕画面が表示されます。
- ②〔全般〕タブで接続に使用するモデムを選択し、〔プロパティ〕ボタンをクリックする
- ③〔接続〕タブで〔接続オプション〕の〔トーンを待ってからダイヤルする〕のチェックをはずし、〔OK〕ボタンをクリックする
- ④〔モデムのプロパティ〕画面で〔閉じる〕ボタンをクリックする



- 内蔵モデム装置が故障した

落雷などの影響で内蔵モデム装置が故障した場合でも、「発信音が聞こえません」とエラーメッセージが表示されることがあります。東芝PC集中修理センタにご連絡ください。

## モデムが使用中になっている



「モデムは、ほかのダイヤルアップネットワーク接続またはほかのプログラムが使用中です」、「モデムが他のアプリケーションによって使用されています」と表示される



● 前回のモデム使用状況が残っている

前回の使用状況によってはモデムが完全に初期化されていない場合があります。

Windows を終了してパソコンの電源を切り、1 分ほどおいてからもう 1 度電源を入れてください。



● モデムを使う他のアプリケーションが終了していない

モデムを使用している他のアプリケーションを終了させてから、もう 1 度接続してください。



## 回線が混雑している



「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン／パルス、外線発信番号 ("0") の設定、ISDN 回線使用のお客様は、同期／非同期設定に誤りがあります」と表示される



### ●回線が混雑している

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。少し待ってからもう1度接続してください。また、何度試しても接続できない場合は、プロバイダにお問い合わせください。



### ●電話回線の設定が間違っている

次の手順で回線の確認および設定を行なってください。

① [コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。必要な項目を確認して設定してください。

- ・ [市外局番] にパソコンを設置している場所の市外局番の、最初の0を除いた番号を設定します。
- ・ 外線発信がある回線の場合は [外線発信番号] を設定します。
- ・ [ダイヤル方法] の [トーン] / [パルス] をご使用の回線にあわせて設定します。

NTTの加入回線の場合、プッシュ回線は [トーン]、ダイヤル回線は [パルス] を選んでください。また、ISDN回線の場合は [トーン] になります。

どの回線を使っているかは、明細書などご契約の電話会社との契約書類をご覧ください。

② [ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



- ・ 使用しているアプリケーションによっては、[パルス] の場合 [10pps] [20pps] の設定が必要です。詳しくは、『アプリケーションのヘルプ』をご覧ください。

## その他



### 接続できない




### ●プロバイダのサーバが停止している

プロバイダがサーバのメンテナンスをしていたり、障害が起きて使用できない場合があります。プロバイダにご確認ください。

## ① [Internet Explorer] アイコンをダブルクリックすると [インターネット接続ウィザード] が表示される

### ● インターネット接続の設定をしていない

インターネットに接続して [Internet Explorer] を使うには、プロバイダと契約し、インターネットに接続するための設定を完了していることが必要です。

 インターネットへの接続について

▶ 「1章 2 インターネットに接続する」

## ② 「このページは、インターネットに接続していません」、 「要求された Web ページは、オフラインで使用できません」と表示される

### ● [オフライン] の設定でホームページを見ている

一度表示されたホームページは、インターネットに接続しない状態 (オフライン) で表示することができますが、ページによっては、インターネットに接続しないと見られない場合があります。

[接続] ボタンをクリックするとオフライン状態が解除され、インターネットに接続して見たいページを表示できます。必要がないときは、[オフライン継続] ボタンをクリックしてください。

## ③ 今まで見ることができたページを見られなくなった

### ● 一時ファイルを削除する

次の手順で操作してください。

① メニューバーから [ツール] - [インターネットオプション] をクリックする

② [全般] タブで [ファイルの削除] ボタンをクリックする  
[ファイルの削除] 画面が表示されます。

③ [OK] ボタンをクリックする

④ [インターネットオプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする

⑤ Internet Explorer 画面で [更新] ボタンをクリックする  
上記の操作を行ってもページが表示されない場合は、アドレス (URL) が変更になった、または削除された可能性があります。そのホームページの管理者またはプロバイダにお問い合わせください。

## ページを開くと文字化けして見られない

### ●文字コードの設定が合っていない

メニューバーから [表示] - [エンコード] - [日本語 (自動選択)] をクリックしてください。

[表示] - [エンコード] - [自動選択] に●がついていると、日本語の文字コード選択の精度が落ち、文字化けの原因となります。

## Internet Explorer 終了時に、切断の確認画面が出なくなった

### ● [ダイヤルアップの設定] で [接続が不要なくなったとき切断する] にチェックがついていない

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[インターネットオプション] をダブルクリックする  
[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。
- ② [接続] タブで [ダイヤルアップの設定] の [設定] ボタンをクリックする  
[XX (接続先) 設定] 画面が表示されます。
- ③ [ダイヤルアップ設定] の [プロパティ] ボタンをクリックする
- ④ [ダイヤル] タブで [接続が不要なときは切断する] をチェックする (  )
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

## [検索] の内容が正しく表示されない

### ● [検索] 画面のタイトルバーを右クリックし、表示されたメニューから [最新の情報に更新] をクリックする



・外国語のページの場合は [表示] - [エンコード] - 表示させたい外国語をクリックします。外国語フォントをインストールしたい場合、[スタート] - [Windows Update] をクリックするとマイクロソフト社の [Windows Update] のホームページが表示されます。このページからフォントをインストールすることができます。



・ツールバーの [更新] をクリックしても [検索ページ] は更新されません。

## 送受信に関するトラブル



インターネットには接続できるのに、メールチェックをすると「メールサーバーにログオンできません。パスワードが拒否されました」と表示される



●メールサーバへの接続パスワードが間違っている  
次の操作の後、もう1度接続を行なってください。

- ①メニューバーから [ツール] - [アカウント] をクリックする  
[インターネットアカウント] 画面が表示されます。
- ②[メール] タブで使用するメールアカウントを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
- ③[サーバー] タブで [パスワードを保存する] をチェックして [パスワード] にパスワードを入力する
- ④[OK] ボタンをクリックする
- ⑤[インターネットアカウント] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする



メールが送れない  
[Mail Delivery failed... User unknown] などのメールが戻って来た



●メールアドレスが間違っている

メールアドレスをよく確認して、送信し直してください。また、送り先のメールアドレスが使われていない（有効でない）場合もあります。



●複数の相手に送るとき、メールアドレスがつながってしまった

同じメールを複数の相手に送る場合は、[宛先]、[CC] などのボックス内でメールアドレスを [;]（セミコロン）で区切って入力してください。また、セミコロンのあとにはスペースなどを入れないでください。



●メールの設定が間違っている

メールサーバ名やID、パスワードなどが正しく設定されているか確認してください。



・パスワードは入力すると\*（アスタリスク）で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。

### ●接続を切断するまでの時間が短く設定されており、送信が時間内に終わらない

次の手順で接続時間を延長してください。

- ①メニューバーから [ツール] - [アカウント] をクリックする  
[インターネットアカウント] 画面が表示されます。
- ②[メール] タブで接続に使用するアカウントを選択し [プロパティ] ボタンをクリックする
- ③[詳細設定] タブで [サーバーのタイムアウト] のつまみを [長い] の方へドラッグし、[OK] ボタンをクリックする
- ④[インターネットアカウント] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

### 送ったメールが文字化けしているといわれた


#### ●メールの形式がHTML形式になっている

次の手順で設定をテキスト形式に変更してください。

- ①メニューバーの [ツール] - [オプション] をクリックする  
[オプション] 画面が表示されます。
- ②[送信] タブで [メール送信の形式] の [テキスト形式] をチェックする
- ③[OK] ボタンをクリックする

#### ●半角のカタカナ、または特殊な記号や漢字を使っている

件名や本文に半角のカタカナ、または特殊な記号や漢字を使うと、文字化けする場合があります。半角のカタカナは使わないでください。カタカナや [ ]、。、・は全角にして送ってください。

 参考 メールで使える文字 ▶ [2章 3-9- メールで使える文字]

#### ●送信時のエンコードの設定が間違っている

メニューバーの [書式] - [エンコード] - [日本語 (JIS)] をクリックしてください。

#### 用語

- ・文字化け  
文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。

#### メモ

- ・メールソフトによってはHTML形式に対応していないため、受取人がそのメールを読めない場合があります。このような場合には、テキスト形式でメールを送信する必要があります。

## ファイルを添付したメールが送れない

- 添付ファイルのサイズが、プロバイダが定めているサイズの上限より大きい

プロバイダやメールソフトによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

圧縮ソフトを使って、ファイルを圧縮してから送ってください。また、複数のファイルは一度に送らずに、数回に分けて送ってください。メールサイズの上限については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

## 受信したメールが文字化けしている

- [文字設定の割り当て]の設定が間違っている

次の手順で設定を変更してください。

- ①メニューバーから [ツール] - [オプション] をクリックする  
[オプション] 画面が表示されます。
- ②[読み取り] タブで [フォント] ボタンをクリックする
- ③[エンコード] が [日本語 (自動選択)] かどうか確認する
- ④[日本語 (自動選択)] 以外に設定されている場合は [日本語 (自動選択)] をクリックする
- ⑤[フォント] 画面の [OK] ボタンをクリックする
- ⑥[オプション] 画面の [OK] ボタンをクリックする  
日本語 (自動選択) になっている場合は、そのまま [Outlook Express] を終了してください。
- ⑦文字化けしているメールを開き、メニューバーから [表示] - [エンコード] - [日本語 (自動選択)] をクリックする
- ⑧メッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックする  
受信したメールによっては画面が表示されないことがあります。
- ⑨開いているメールを閉じる
- ⑩Outlook Express を再起動する  
文字化けが直っているか確認してください。

- メールを送信元の設定などが間違っている  
送信元に設定を確認してください。



### ・圧縮ソフト

ファイルのサイズを小さく圧縮するソフトウェア。インターネットのホームページや雑誌の付録などから入手できる。[WinZip]、[LHA] など

## 添付ファイルが表示できない

### ● クリックしている場所を間違えている

メッセージの差出人や件名が表示されているファイルのファイル名をクリックしてください。

 添付ファイルを開く

▶ 「2章 3-9- メールに添付されたファイルを開く」

### ● メールソフトが添付ファイルの変換方式に対応していない

使っているメールソフトが受信した添付ファイルの変換方式に対応していない場合などに、文字化けになります。相手のメールソフトの変換方式を確認してください。Outlook Express は [MIME 形式] と [UUENCODE 形式] に対応しています。

### ● 自分のパソコンに、対応するアプリケーションがない

添付ファイルに対応するアプリケーションがご自分のパソコンにない場合は、ファイルを開くことはできません。送信元にどのようなアプリケーションで開けるかご確認ください。

### ● ファイル名に拡張子がない

拡張子のないファイルは、ファイルの属性がわからないため、開けません。また、「種類が (.dat) のファイルを開こうとしています。」というメッセージが表示される場合があります。送信元にどのようなアプリケーションで開けるか確認してファイルを開いてください。

### ● 添付ファイルが圧縮されている

添付ファイルの拡張子が [.lzh] や [.zip] のとき、ファイルは圧縮されています。いったんハードディスクに保存して、解凍ソフトなどで解凍してください。

### ● 添付されているファイル名が文字化けしている

ファイル名が長い場合、文字化けしてファイルが開けなくなることがあります。メールの送信元に連絡して、ファイル名を短くして再送してもらってください。

### 用語

#### ・ 拡張子

ファイル名の「.(ピリオド)」で区切った後ろに付く文字列で、ファイルの属性や内容を表す。

【例】.doc → Word で作られたファイル  
.jpg → JPEG 形式のファイル

#### ・ 圧縮/解凍ソフト

ファイルのサイズを小さく圧縮したり、元のサイズに戻すソフトウェア。インターネットのホームページや雑誌の付録などから入手できる。[WinZip]、[LHA] など。

## 送付したメールの添付ファイルが、文字化けしているといわれた

### ●相手のメールソフトの設定を確認する

送った添付ファイルの変換方式に相手のメールソフトが対応していない場合などに、メールは文字化けします。相手のメールソフトが対応している変換方式をご確認ください。Outlook Express は [MIME 形式] と [UUENCODE 形式] に対応しています。ご購入時には MIME 形式に設定されています。UUENCODE 形式に変更するには次の操作を行なってください。

- ①メニューバーから [ツール] - [オプション] をクリックする  
[オプション] 画面が表示されます。
- ②[送信] タブで [メール送信の形式] の [テキスト形式] をチェックする
- ③[メール送信の形式] の [テキスト形式の設定] ボタンをクリックする
- ④[メッセージ形式] の [UUENCODE] をクリックし、  
[OK] ボタンをクリックする
- ⑤[オプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする  
また、メールの相手先の設定が長いファイル名に対応していないことがありますので、添付するファイル名はなるべく 8 桁の半角英数字にしてください。

## 新着メールチェック機能について


### 新着メールチェックができない

#### ●新着メールチェックの設定が間違っている

「2章 4 新着メールをランプで確認する」をご覧ください。設定を確認してください。

#### ●イージーボタンがセットアップされていない

イージーボタンのユーティリティをセットアップしてください。

 詳細について

- 『基本編 1章 2-3 イージーボタンとタッチパッドを使うには』

#### ●POP3に対応していないプロバイダと契約して、インターネット接続をしている

この場合、新着メールチェック機能は使えません。ご契約のプロバイダにご確認ください。



**●パソコンの電源を切っている**

新着メールチェックをするときは、ACアダプタとモジュラーケーブルを接続し、電源の入った状態にしてください。

**●インターネット接続のパスワードの保存と自動接続が設定されていない**

インターネットに接続するときに次の設定がされていないと、自動的にメールチェックはできません。

- ・パスワードの保存
- ・自動接続の設定

次の手順で設定してください。

- ① [スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする  
[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。
- ② 接続に使用するアイコンをダブルクリックする  
[接続] 画面が表示されます。
- ③ [接続] 画面で、[パスワード] にパスワードを入力する
- ④ [パスワードの保存] と [自動的に接続する] にチェックをつける
- ⑤ [接続] ボタンをクリックする  
すぐに接続する必要がなくても、1度 [接続] ボタンをクリックして、設定を保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定は保存されません。  
[XX (接続先) に接続中] 画面が表示されます。
- ⑥ [キャンセル] ボタンをクリックする
- ⑦ [接続] 画面を閉じる

**●受信メールサーバのパスワードが保存されていない**

自動的にメールチェックを行う場合、次の手順で受信メールサーバのパスワードを保存してください。


- ① メニューバーから [ツール] - [アカウント] をクリックする  
[インターネットアカウント] 画面が表示されます。
- ② [メール] タブで使用するメールアカウントを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
- ③ [サーバー] タブで [パスワードを保存する] をチェックして [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックする
- ④ [インターネットアカウント] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする





・パスワードは入力すると\* (アスタリスク) で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。





・パスワードは入力すると\* (アスタリスク) で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。


**その他****Outlook Express 起動時に自動的にダイヤルしたり、接続確認の画面が表示されるのをやめたい**


- 
- 起動時にメッセージの送受信を実行する設定になっている次の手順で設定を変更してください。
    - ①メニューバーの [ツール] - [オプション] をクリックする [オプション] 画面が表示されます。
    - ② [全般] タブの [メッセージの送受信] で [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす
    - ③ [OK] ボタンをクリックする

**メールの送受信をした後、インターネットの接続が切断される／切断されない**


- 
- メールの送受信が終了したら切断する設定になっている次の手順で設定を変更してください。
    - ①メニューバーから [ツール] - [オプション] をクリックする
    - ② [接続] タブの [ダイヤルアップ] で [送受信が終了したら切断する] のチェックをはずす
    - ③ [インターネット接続の設定] の [変更] ボタンをクリックする [インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。
    - ④ [OK] ボタンをクリックする
    - ⑤ [オプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする
    - ⑥ Outlook Express を再起動する [送受信が終了したら切断する] をオフにすると、送受信が終わってもインターネットの接続は解除されなくなります。

**アドレス帳にメールアドレスを登録するとき、  
[インターネットの電子メールアドレスは  
ASCII 文字以外は使用できません。] という  
エラーメッセージが表示される**


- 
- 入力したメールアドレスに全角文字や半角カタカナが含まれている  
半角英数字で入力し直してください。

 アドレス帳にメールアドレスを登録するとき、  
[入力された電子メールアドレスは、有効なインターネット電子メールアドレスではありません] と表示される

- 電子メールアドレスを正しい形式で入力していない  
メールアドレスは半角英数字で、「XX@XX.XX」の形式で登録されます。入力に誤りがないか確認してください。

 メッセージの日付を指定して検索を実行すると  
[無効な日付の範囲が選択されました。開始日を終了日より前にしてください。] と表示される

- 開始日・終了日の設定を間違えている  
Outlook Express のメッセージの検索は、日付をさかのぼって行われます。  
例えば、検索したい期間が4月1日から4月10日までの場合は、4月10日から検索をはじめ、4月1日までさかのぼりますので、次のように入力してください。  
開始：2000/04/10  
終了：2000/04/01

 送信メッセージの宛先に [BCC] ボックスを表示させたい

- 次の手順で設定を変更してください。
  - ①メニューバーから [メッセージ] - [メッセージの作成] をクリックする  
[メッセージの作成] 画面が表示されます。
  - ②メニューバーから [表示] - [すべてのヘッダー] をクリックする  
[BCC] ボックスが表示されます。[BCC] ボックスを非表示にしたい場合は、もう1度 [表示] - [すべてのヘッダー] をクリックしてください。



・「CC」は Carbon Copy の略で、文書の宛先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「BCC」は Blind Carbon Copy の略で、「CC」と同様の役割です。「宛先」、「CC」で指定したアドレスはメールを受け取ったすべての人に表示されますが、「BCC」で指定したアドレスは受け取った本人にしか表示されません。送信したことを他の人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

## 文字がおかしくなったり、データの送受信中にエラーが発生する

### ●通信ソフトが正しく設定されていない

通信ソフトのヘルプなどをご覧になり、最大通信速度などをご確認ください。

### ●パソコンの近くでテレビやラジオなどを使っている

テレビやラジオなどは、パソコンから離してご使用ください。モジュラーケーブルがノイズの影響を受けて正しく通信できないことがあります。

## 内蔵モデムでK56flex サイトにうまく接続できない

### ●内蔵モデムの通信モードが合っていない

内蔵モデムの通信モードの設定について、AT コマンドで K56flex を有効にしてください。

また、PBX 経由など、回線品質が NTT の回線と異なる場合は K56flex での接続ができないことがあります。その場合は、AT コマンドで K56flex を無効にして、V.34 モードで接続してください。

① [コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルクリックする

[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。

② [全般] タブで接続に使用するモデムを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする

③ [接続] タブで [詳細設定] ボタンをクリックする  
[接続の詳細設定] 画面が表示されます。

④ [追加設定] に半角英文字で次のように入力する

・初期状態 - V90=1 S38=0

・K56flex を有効にする場合 - V90=0 S38=1

・K56flex を無効にする場合 - V90=0 S38=0

K56flex サイト以外に接続するときは初期状態に戻してください。

⑤ [OK] ボタンをクリックする

⑥ 手順②で選択したモデムのプロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする

⑦ [モデムのプロパティ] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

再起動後、K56flex または V.34 モードが有効になります。



・K56flex と V.90 を無効にすると、V.34 モードで接続します。接続時の Max スピードは 33,600bps です。K56flex で接続時の Max スピードは理論上 56,000bps です。しかし、回線状態などの影響で、実際の接続状態は、これより遅くなる場合があります。

## ダイヤル発信時、呼び出し音と同時に断続した「ピー」という音が聞こえる

●発信中の端末が情報機器であることを接続先端末に知らせるサイン（コーリングトーン）です。

インターネットやパソコン通信を9600bps以上で接続する場合は問題ありませんが、接続先によっては、接続直後に回線が切断されることがあります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルクリックする  
[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ② [全般] タブで接続に使用するモデムを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
- ③ [接続] タブで [詳細設定] ボタンをクリックする
- ④ [追加設定] に半角で - CO（マイナス シー ゼロ）と入力し、[OK] ボタンをクリックする
- ⑤ 手順②で選択したモデムのプロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [モデムのプロパティ] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

## 回線が切断される

●キャッチホンサービスを受けている

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう1度接続し直してください。また、次の手順を行うとキャッチホン機能が解除されます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[テレフォニー] をダブルクリックする  
[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。
- ② [キャッチホン機能を解除する番号] をチェックし、▼ボタンをクリックして [\* 70.] を選択する
- ③ [ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



・キャッチホンⅡのサービスを利用すると、通話中にかかってきた電話を転送・録音し、通信が切れることはありません。キャッチホンⅡについては、NTTにご相談ください。




・通常は [\* 70.] です。適切な番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。

## Windows Update ができない

### ● 正しく接続されていない

モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。


 モジュラーケーブルの取り付け

▶ 「1章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

### ● インターネットプロバイダと契約していない

Windows Update は、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

また【簡単インターネット】を使用すると、簡単にインターネットへの接続ができます。

 プロバイダの入会方法、簡単インターネット

▶ 「1章 2-3 プロバイダと契約する」

### ● Windows のユーザ登録をしていない

Windows Update を利用するには、Windows ユーザ登録を行なってください。

 Windows のユーザ登録

▶ 『基本編 1章 6 ユーザ登録をする』

## ① モデムの設定を購入時の状態に戻したい

### ● ハイパーターミナルを利用する

次の手順で操作してください。

この操作では実際に電話発信はしませんので、モデムに電話線を接続する必要はありません。

- ① [コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルクリックする

[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。

- ② 使用しているモデム名をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする

- ③ [全般] タブで [ポート] を確認し、[OK] ボタンをクリックする

ハイパーターミナルが扱えるポート番号は COM1 ~ COM4 です。ご使用のモデムが COM5 以降のポート番号に割り当てられている場合は操作できません。COM1 ~ COM4 にポートを割り当て直してください。

- ④ [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [通信] - [ハイパーターミナル] をクリックする

[接続の設定] 画面が表示されます。

- ⑤ [名前] を入力し、[OK] ボタンをクリックする

- ⑥ [接続方法] を、モデムを割り当てているポート番号にダイレクト接続する設定にする

例えば、COM2 に割り当てている場合は [Com2 ヘダイレクト] になります。

[Com XX ヘダイレクト] を選択すると同時に、国/地域番号、市外局番および電話番号の入力はできなくなります。

- ⑦ [OK] ボタンをクリックする

[Com XX のプロパティ] 画面が表示されます。

- ⑧ [OK] ボタンをクリックする

- ⑨ ハイパーターミナルの白い画面に、「AT&F&W」と入力する

- ⑩ (Enter) キーを押す

[OK] と表示されます。

- ⑪ メニューバーから [ファイル] - [ハイパーターミナルの終了] をクリックする

- ⑫ [切断してもよろしいですか?] と表示されたら [はい] ボタンをクリックする

- ⑬ [セッションXXXを保存しますか?] と表示されたら [いいえ] ボタンをクリックする

# さくいん

<b>H</b>	<b>ウ</b>
HTML 形式 ..... 50	ウィルス ..... 39
<b>I</b>	<b>オ</b>
Internet Explorer 画面 ..... 26	[お気に入り] からホームページを表示する .. 30
Internet Explorer の使いかた ..... 26	[お気に入り] に登録する ..... 28
<b>K</b>	[お気に入り] を整理する ..... 31
K56flex ..... 17	オンラインサインアップ ..... 18
<b>O</b>	<b>カ</b>
Outlook Express ..... 52	解凍ソフト ..... 95
Outlook Express 画面 ..... 53	拡張子 ..... 95
Outlook Express の設定 ..... 45	簡単インターネット ..... 18
Outlook Express の使いかた ..... 52	<b>キ</b>
Outlook Express を起動する ..... 52	起動したときに表示するページを変更する .... 32
<b>P</b>	<b>コ</b>
POP3 サーバ ..... 44	コンピュータウィルス ..... 74
<b>S</b>	<b>シ</b>
SMTP サーバ ..... 44	受信メールを見る ..... 58
<b>V</b>	署名 ..... 70
V.90 ..... 17	新着メール確認機能 ..... 77
<b>W</b>	<b>ス</b>
WWW ..... 11	スタートページに戻る ..... 33
<b>ア</b>	<b>タ</b>
アクセスポイント ..... 13	ダウンロード ..... 33, 39
新しいアドレスを登録する ..... 66	<b>テ</b>
圧縮ソフト ..... 94	テキスト形式 ..... 50
アドレス ..... 28	電子メール ..... 12, 44
アドレス帳 ..... 65	電話回線のタイプを設定する ..... 16
アドレス帳を修正する ..... 67	<b>ト</b>
アドレス帳を使って宛先を入力する ..... 68	トーン ..... 16
<b>イ</b>	<b>ネ</b>
以前に表示したホームページを表示する ..... 41	ネットニュース ..... 12
インターネット ..... 10	<b>ハ</b>
インターネット接続ウィザード ..... 19	パソコンと電話回線を接続する ..... 17
インターネット接続を終了する ..... 25	パルス ..... 16
インターネットに接続する (2 回目以降) ..... 23	
インターネットに接続する (初回) ..... 15	
インターネットボタン ..... 23	



**フ**

ブラウザ .....	11
プレインストール .....	45
プログラムファイルをダウンロードする .....	39
プロバイダ .....	10
プロバイダと契約する .....	18
プロバイダに入会する .....	18

**ホ**

ホームページの画像を壁紙に設定する .....	37
ホームページの画像を保存する .....	36
ホームページを保存する .....	33
ホームページを検索する .....	27

**メ**

メールサーバ .....	44
メールで使える文字 .....	70
メールに添付されたファイルを開く .....	74
メールにファイルを添付する .....	72
メールのしくみ .....	44
メールの続きを作成する .....	56
メールボタン .....	52
メールを書くのを一時的にやめる .....	55
メールをくれた相手を アドレス帳に登録する .....	65
メールを削除する .....	61
メールを作成する .....	54
メールを受信する .....	57
メールを送信する .....	57
メールを転送する .....	60
メールを分類する .....	63
メールを返信する .....	59

**モ**

文字化け .....	50
モジュージャック .....	17

